LYT1996-001A-M

ビデオカメラ

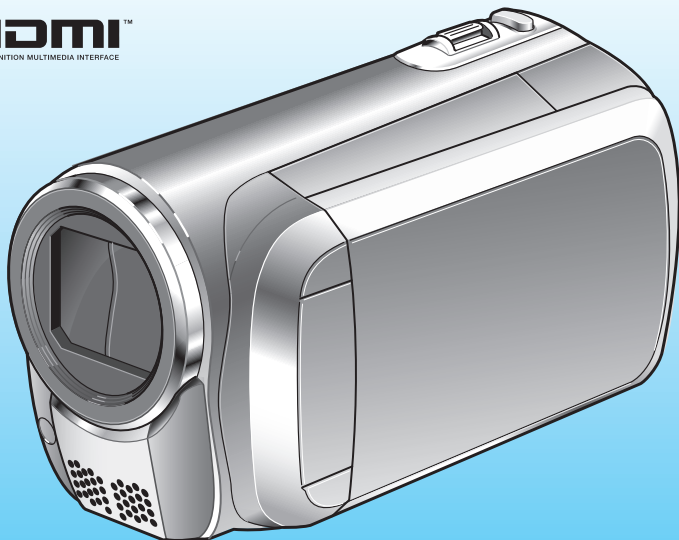
型名 GZ-HM200

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」(P.12)および、「使用上のご注意」(P.14)は、必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

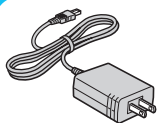
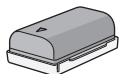
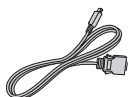
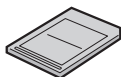
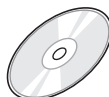
HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

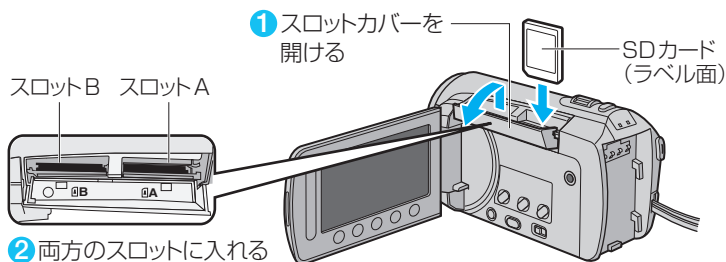
準備
撮影・再生
編集・保存
DVD作成
メニュー
困ったとき

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

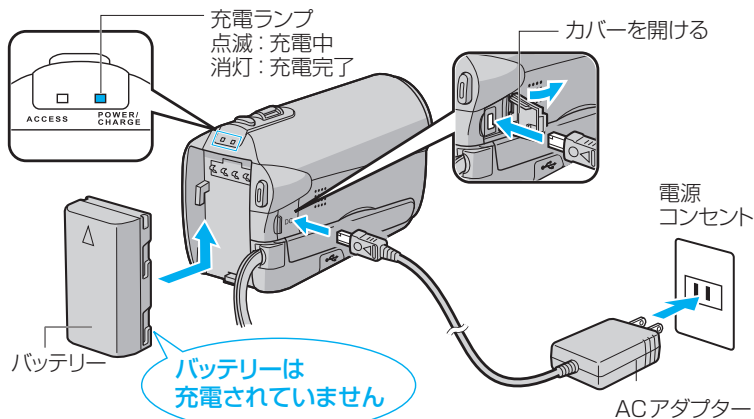
かんたん撮影ガイド

付属品を確かめましょう

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

■別売アクセサリーについて➡(P.115)

SDカードを入れましょう

■動作確認済みのSDカード ➡(P.28)

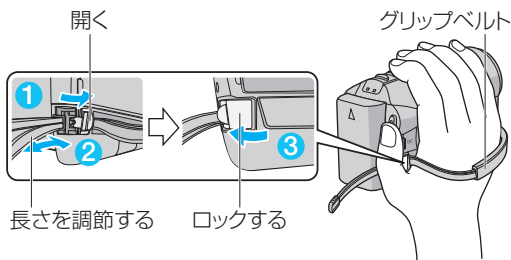
まずはバッテリーを取り付け、充電します。
続いて、次のページで時計を合わせましょう。

撮影前に充電しましょう

必ずビクター製のバッテリーをお使いください。
ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

グリップベルトを調節しましょう

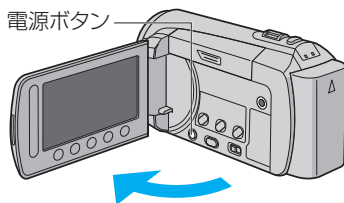
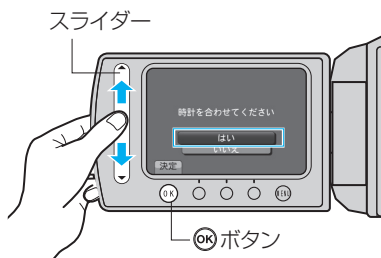
・必ずロックしてください。
・本機を落とさぬよう
　十分にご注意ください。

お知らせ

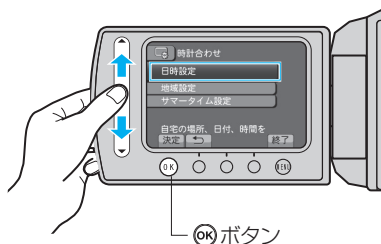
●グリップベルトがゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。

時計を合わせましょう

❶ 画面を開きます

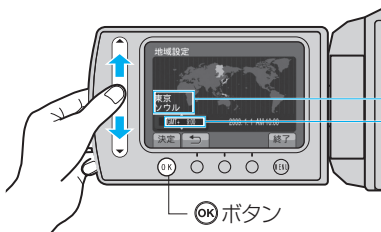
・電源が入ります。

10 秒以内

❷ スライダーを指でなぞって「はい」を選び、OK をタッチします

•メッセージが消えてしまったら、電源ボタンを２秒以上押して電源を切り、再び電源ボタンを２秒以上押すと表示します。

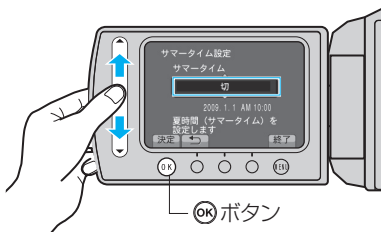
•爪や手袋などでは操作できません。

❸ スライダーで「日時設定」を選び、OK をタッチします

お知らせ ●時計を設定すると、「時計を合わせてください」のメッセージは表示されません。

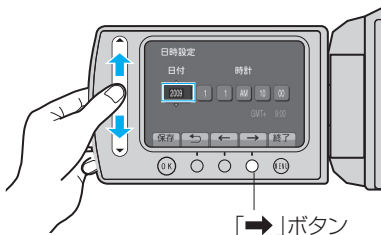
撮影の前に、時計を合わせます。
続いて、次のページで動画を撮影しましょう。

4 スライダーで「＋9：00」に合わせ、OKをタッチします

•ご使用になる地域の都市名を選びます。（日本では、左図のとおり）

東京、ソウル
＋9：00

5 スライダーで「切」に合わせ、OKをタッチします

●サマータイムが実施中の地域では
➡「入」を選ぶ
●前の画面に戻るとき
➡「⮌」をタッチする

●あとで時計を合わせるとき
➡「終了」をタッチする

6 スライダーで西暦を合わせ、「➡」をタッチします

•同様に、月日と時刻を合わせます。

7 設定が終わったら、OKをタッチして決定します

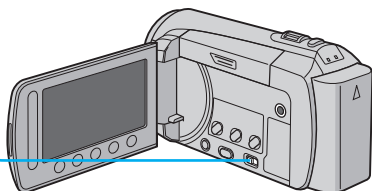
■海外で使うとき ➡(P.25)

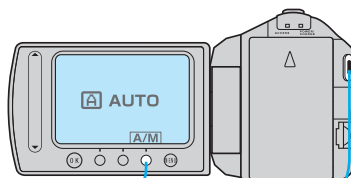
■サマータイムとは ➡(P.99)

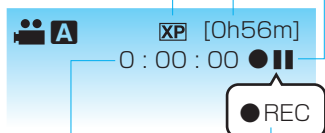
撮影しよう!

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

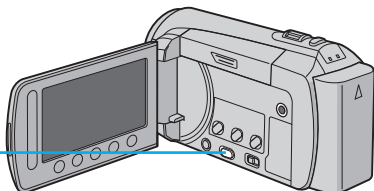
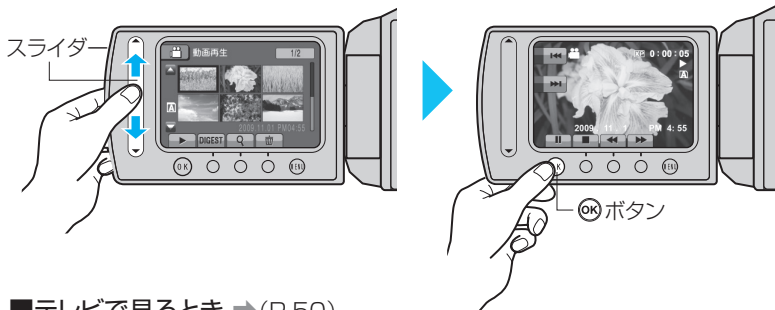
まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。
すべて自動で設定され、面倒な操作は必要ありません。

1 スライドして動画（🎥）を選びます

2 A/Mを何度かタッチし、Aを表示します

•押す度に、オートAとマニュアルMに切り替わります。

3 押して撮影します

•押すと、撮影を始めます。
•もう一度押すと、撮影を終えます。

再生しよう!

1 PLAY/REC **押して、再生画面を表示します**

•押す度に、撮影と再生に切り替わります。

2 スライダーを指でなぞって見たい動画を選び、OKをタッチします

■テレビで見るとき ➡(P.50)

■早送り、早戻しなどをするとき ➡(P.36)

重要!

- **画面を操作するとき**

  ➡画面周囲のボタンやスライダーに指でタッチします

  •爪や手袋などでは操作できません。

  •画面内の表示に触れても動作しません。

- **撮影したら、こまめに保存しましょう!**

  ●ビデオ機器にダビングするとき➡(P.62)

  ●DVDに保存するとき➡(P.70)

  ●パソコンに保存するとき➡(P.80)

もくじ

確認する

■本書のアイコン
　は動画モードの、
　は静止画モードの
機能をあらわします。

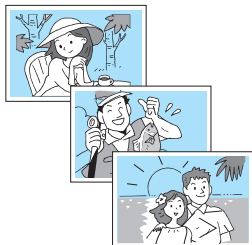
準備する

撮影する／再生する

編集する／保存する

もくじ(つづき)

DVDをつくる

DVDライターで

パソコンで

■付属ソフトのヘルプ(取扱説明書)の見かた
➡(P.119)

■付属ソフトのお問い合わせ先
➡(P.119)

メニューを使う

困ったとき

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。(損傷や故障の原因) ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 (汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因)

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意　感電注意

禁止されていること

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水場での使用禁止

実行して欲しいこと

一般的指示

⚠ 警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

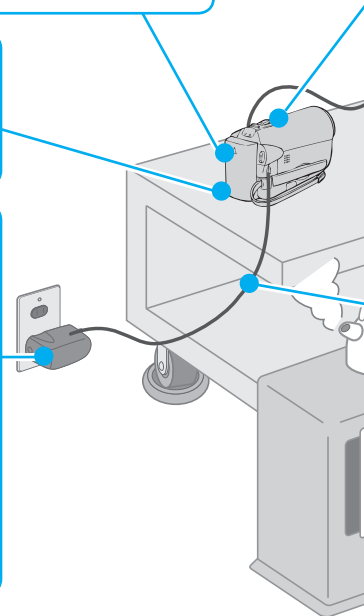
ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

小さな付属品を、乳幼児の手の届くところに置かない
・誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

禁止

内部に物を入れない
・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
・交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場など水滴がある場所で使用しない
・本機の上に、水や液体が入った容器などを置かないでください。
・水や液体が内部に入ると、火災や感電を引き起こす原因になります。

⚠ 注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

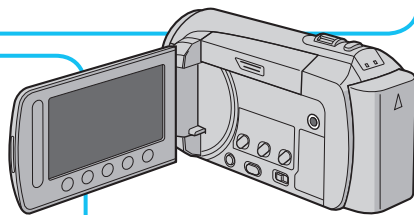
湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところ、熱源の近くでは、使用しない
・火災や感電、故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

- **精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。**
  記録や再生ができなくなります。
- **本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。**
  高温になると、内部の電池が破裂することがあります。
- **SD カードに記録できます。**
  データ保護のため、SD カードの端子に触らないようご注意ください。
- **撮影したデータはパソコンや DVD に保存してください。**
  本機や SD カードの故障や、静電気などによるデータの損傷や消失に備えて、パソコンや DVD、ビデオ機器などに定期的に保存（バックアップ）することをおすすめします。データが失われた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。
- **AVCHD 規格でハイビジョンの動画を記録・再生します。**
  HDV 方式や MPEG2 方式などのビデオとは、互換性がありません。
- **指定された動作環境でご使用ください。**（P.112）

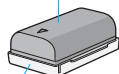
液晶画面について

- **表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。**
  傷がついたり、割れる場合があります。

■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

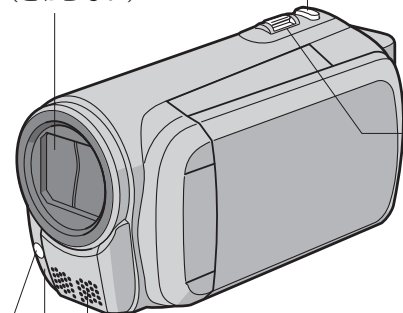
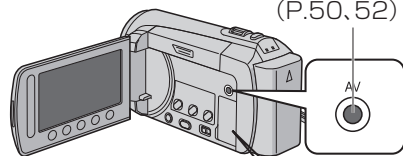
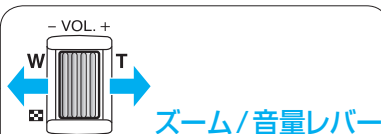
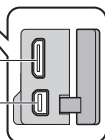
バッテリー(充電式電池)について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。充電してお使いください。
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせない)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ①劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
  (撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ)
  ②半年に1回程度は充電し、使い切って保管します。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。
- バッテリーを処分する際はP.115をご覧ください。

バッテリー
バッテリーキャップ

■SDカードを廃棄/譲渡するときは、データの流出にご注意ください

- ビデオカメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、SDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

各部の名前とはたらき

SNAPSHOT
（静止画 撮影）
SNAPSHOTボタン
静止画を撮影する（P.38）
レンズ/電動レンズカバー
（さわらない）
ステレオマイク
カメラセンサー
リモコン受光部
ライト
AV端子
（P.50、52）
AV
HDMI端子（P.50）
コンポーネント端子（P.50）
– VOL. +
W
T
ズーム/音量レバー
撮影中
広く／大きく撮る（P.32）
〈W側〉
〈T側〉
再生モード（一覧表示）
一覧表示する画像の数を変える
動画再生
1/2
DIGEST
<6画面>
<12画面>
選んだ動画の撮影日時
（6画面のみ表示）
動画再生中
音量を変える（P.36）

（アクセス）
ACCESSランプ

点灯／点滅：記録中や再生中

●点灯中や点滅中は、バッテリー、ACアダプター、SDカードを取りはずさないでください。

（電源／充電）
POWER/CHARGEランプ

点灯：電源「入」
点滅：充電中または高速起動「入」（P.100）
消灯：充電完了または電源「切」

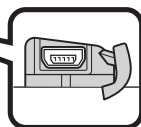
（動画 録画）
START/STOPボタン

動画の撮影を開始／停止する（P.32）

スピーカー

グリップベルト

手のひらを入れ、固定する（P.3）

ロックする

USB端子

別売のDVDライター（P.70）やパソコンへ

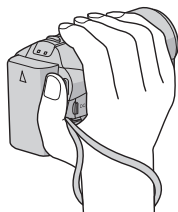
DC端子

電源コンセントへ（P.27）

ハンドストラップ

グリップベルトを使わないときに、下図のように手首を通す。

お知らせ

●グリップベルトは必ずロックしてください（P.3）。
●持ち運びの際は、本機を落とさぬよう十分にご注意ください。
●お子様がご使用のときは、保護者の方が十分にご注意ください。

各部の名前とはたらき

メニューボタン

設定を変える(P.89)

画面

開閉すると、電源を入/切できる(P.30)
自分を撮るときは、回転させる

スライダー (レーザー タッチ オペレーション) LASER TOUCH OPERATION

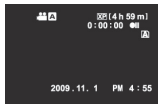
メニューや一覧表示で、項目や画像を選択する操作ボタンとしても使う(P.21)

操作ボタン(P.21)

OKボタン

選択した項目や画像を決定する

(再生/撮影) PLAY/RECボタン

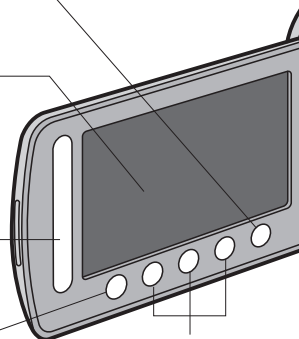
撮影と再生を切り換える(P.30)

〈撮影 P.32〉

〈再生 P.36〉

(動画/静止画) 動画/静止画スイッチ

動画と静止画を切り換える(P.30)

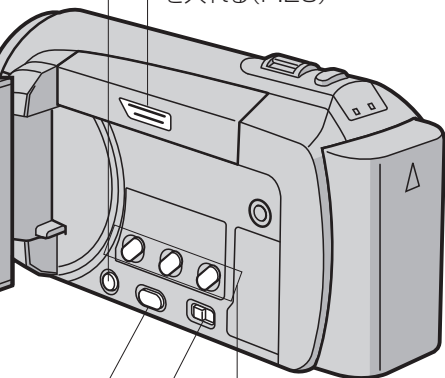
〈動画〉

〈静止画〉

お知らせ ●パソコン接続中の操作については、MediaBrowserのヘルプをご覧ください(P.119)。

電源ボタン

画面を開けたまま、電源を入／切できる(P.30)

スロットカバー

なかのスロットに、SDカードを入れる(P.28)

DIRECT DISC (ダイレクトディスク/情報)

DIRECT DISC /INFO ボタン

INFO

撮影

残量情報を表示する(P.35)
動画の画質を変更する
スロットの切り替えをする

〈残量時間〉

〈充電状況〉

DVDライター(別売)接続中

動画をDVDに保存する(P.71)

再生

撮影日などのファイル情報を見る

パソコン接続中 (Windows)

パソコンのDVDに保存する

UPLOAD

(アップロード)

UPLOAD ボタン

撮影

YouTube™用の動画を撮る(P.47)

パソコン接続中 (Windows)

YouTube™に動画を送信する

EXPORT

(iTunes転送)

EXPORT ボタン

撮影

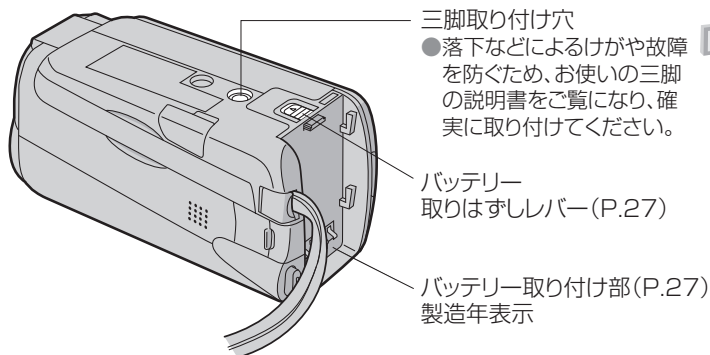
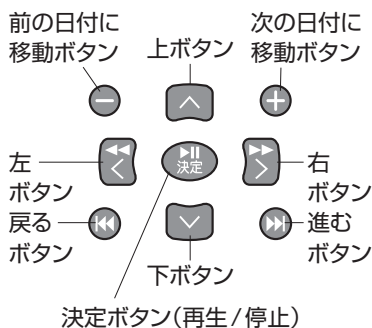
iTunes用の動画を撮る(P.48)

再生

iTunes用の動画にする(P.49)

パソコン接続中 (Windows)

動画をiTunesに転送する

各部の名前とはたらき

リモコン

●スロー再生やコマ送りの操作は、本機と同じ(P.36)。

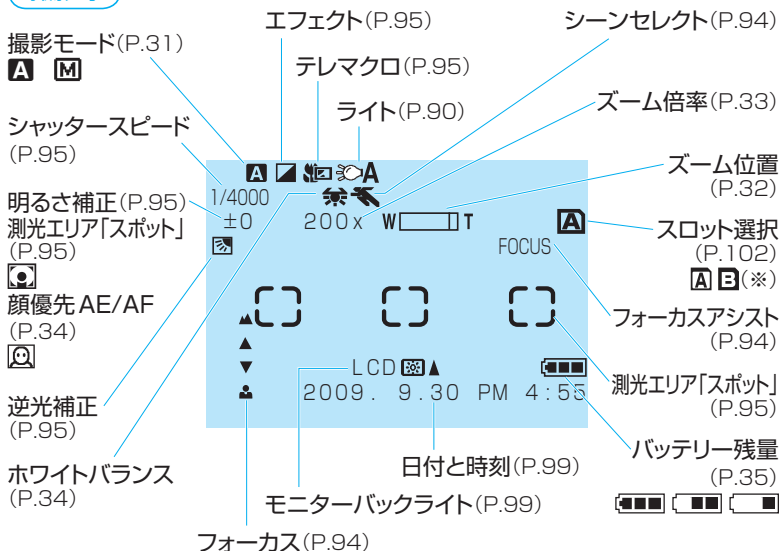
●リモコンは受光部(P.16)に正面から向け、約5m以内でご使用ください。

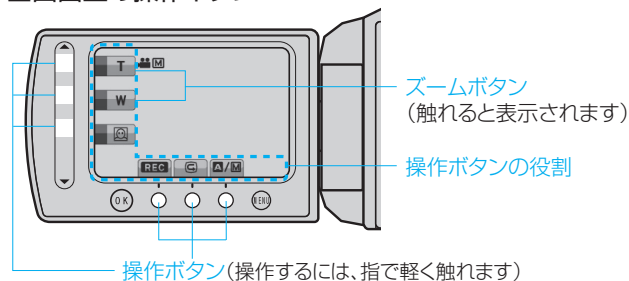
画面の見かた

共通

撮影時

撮影モード(P.31)
A M
シャッタースピード
(P.95)
明るさ補正(P.95)
測光エリア「スポット」
(P.95)
顔優先AE/AF
(P.34)
逆光補正
(P.95)
ホワイトバランス
(P.34)
エフェクト(P.95)
テレマクロ(P.95)
ライト(P.90)
シーンセレクト(P.94)
ズーム倍率(P.33)
ズーム位置
(P.32)
スロット選択
(P.102)
A B(※)
フォーカスアシスト
(P.94)
測光エリア「スポット」
(P.95)
バッテリー残量
(P.35)
日付と時刻(P.99)
モニターバックライト(P.99)
フォーカス(P.94)

1/4000
±0
200x
W T
FOCUS
LCD
2009. 9.30 PM 4:55

※選択したスロット(AまたはB)にSDカードが入っていないと点滅します。

■画面上の操作ボタン

*操作ボタンに軽く触れることを、本書では「タッチする」と表記します。

画面の見かた（つづき）

動画のとき

静止画のとき

再生時

フォルダ番号

静止画再生(P.30)

ファイル番号(P.102)

101-0098

1080P

スライドショー
(P.39)

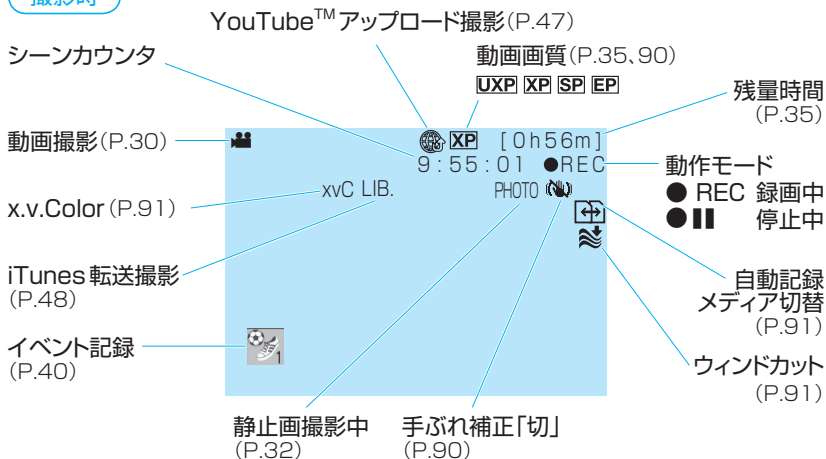
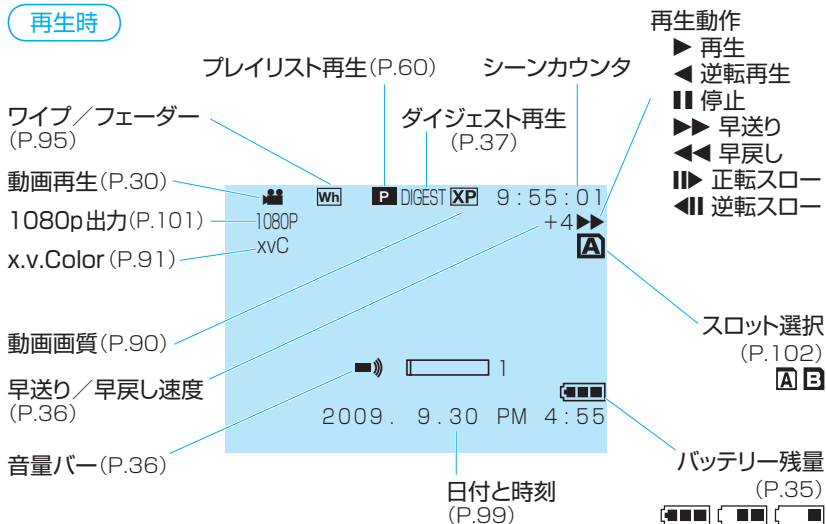
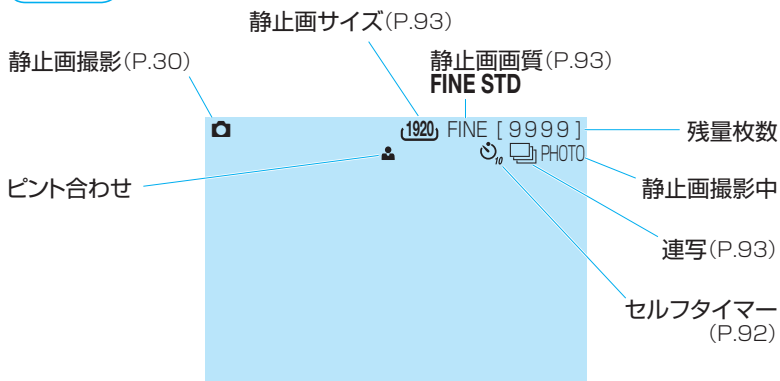
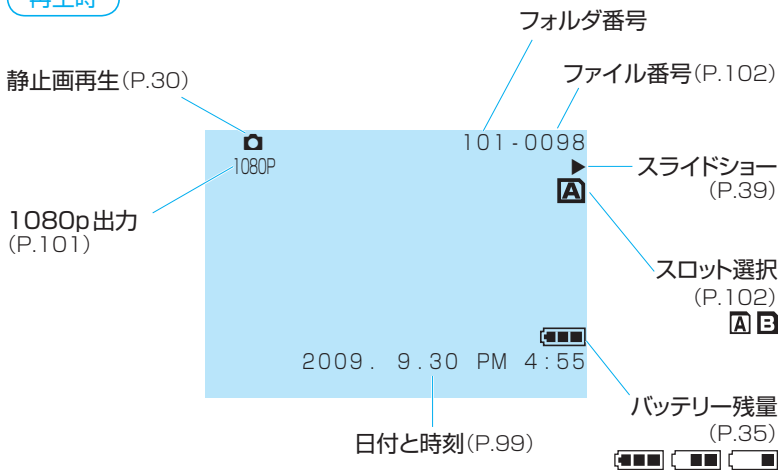
1080p出力
(P.101)

スロット選択
(P.102)

A B

2009. 9.30 PM 4:55

バッテリー残量
(P.35)

日付と時刻(P.99)

撮影時間／枚数の目安

撮影可能時間や撮影可能枚数は目安です。撮影環境や、お使いになるSDカード、バッテリーの状況によって異なることがあります。

動画の撮影可能時間の目安

	SDHCカード			
画質	4GB	8GB	16GB	32GB
UXP UXP	20分	40分	1時間20分	2時間40分
XP XP	30分	1時間	2時間	4時間
SP SP	44分	1時間28分	2時間56分	5時間52分
EP EP	1時間50分	3時間40分	7時間20分	14時間40分

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

		SDカード		SDHCカード	
画像サイズ	画質	1GB	2GB	4GB	8GB
1920 16:9 1920×1080（16：9）	ファイン	1030	2100	4140	8330
	スタンダード	1620	3210	6320	9999
1440 4:3 1440×1080（4：3）	ファイン	1360	2770	5450	9999
	スタンダード	2140	4360	8570	9999
640 4:3 640×480（4：3）	ファイン	6680	9999	9999	9999
	スタンダード	9999	9999	9999	9999

※16GB以上のSDHCカードには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

撮影時間の目安（バッテリー使用時）

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VF808	40分	1時間25分
BN-VF815	1時間30分	3時間
BN-VF823	2時間15分	4時間30分
VU-V840KIT	4時間	8時間5分
VU-V856KIT	5時間45分	11時間30分

※ライト「切」、モニターバックライト「標準」のときの値です。
※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなることがあります。
（撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします）
※十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
（新しいものに交換してください）

海外で使うときは

訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生できます

詳しくは「テレビで見る」（P.50）をご覧ください。

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

旅行先を選ぶだけで、日時表示が現地時刻に変わります

日時表示を、旅行先の現地時刻に変更できます。

1. MENU メニューを表示する
2. 「表示設定」を選び、OK をタッチする
3. 「時計合わせ」を選び、OK をタッチする
4. 「地域設定」を選び、OK をタッチする
5. ご使用になる地域の都市名を選び、OK をタッチする
6. MENU をタッチする

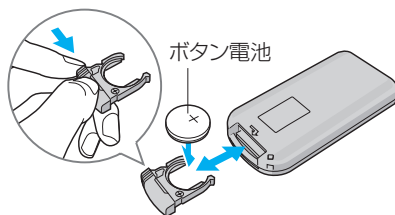
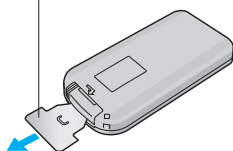
■旅行先がサマータイムのとき
➡（P.99）

■旅行から戻ったとき
➡左の操作を行い、手順⑤で元の都市名を選ぶ

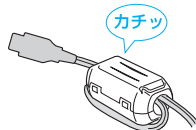
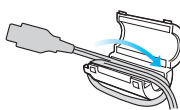
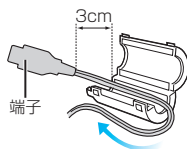
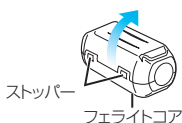
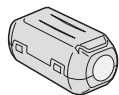
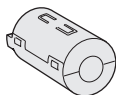
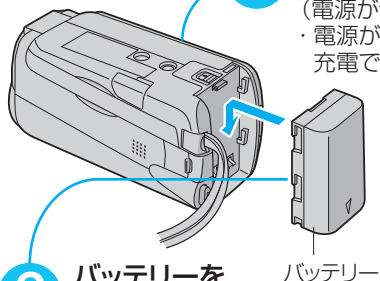
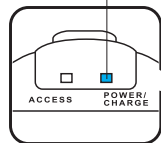
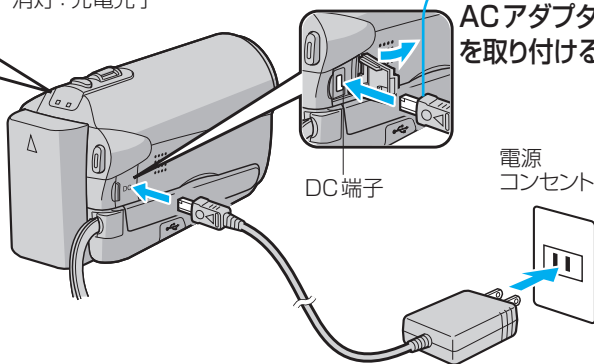
準　備 1

使用前に準備する

リモコン電池の用意をする

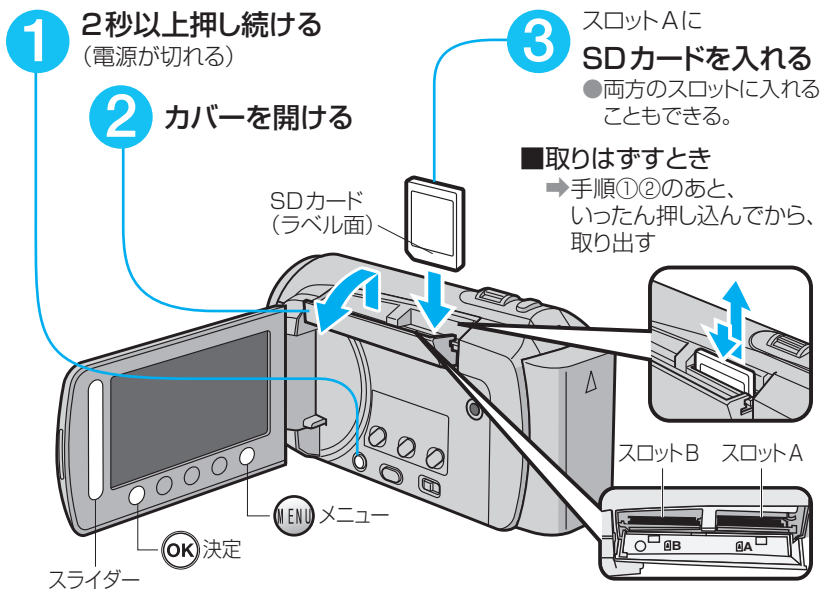
■電池を入れ替えるとき

フェライトコアを付属品に取り付ける

付属のフェライトコアを、ACアダプター、USBケーブル、D端子ケーブルに取り付けます。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

1. **両側のストッパーをはずし、開く**
2. **本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける**
3. **巻き付ける**（図は1回巻きの場合※）
4. **ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる**

■フェライトコアの取り付け先と巻き付け回数（※）

2個
- ACアダプター用（2回巻き）
- USBケーブル用（1回巻き）

1個
- D端子ケーブル用（1回巻き）

準備 2 バッテリーを取り付け充電する

お知らせ

- 充電時間の目安は、付属のバッテリーで約１時間50分です。（室温10℃～35℃の範囲以外で充電すると、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。）
- ACアダプターを接続したまま、撮影や再生ができます。（撮影中や再生中は、バッテリーを充電できません。）

準備 3 SDカードを入れる

■SDカードをお使いになるときは
- 付属のSDカード、または動作確認済みのSDカードをお使いください。
- データの消失を防ぐため、SDカードを出し入れする前に、必ず電源を切ってください。

動作確認済みのSDカード

●動画　：Class 4以上対応のSDHCカード（4GB～32GB）
画質 UXP で撮影するときは、確実な記録のため、Class 6対応のSDHCカードをおすすめします。

●静止画：SDカード（256MB～2GB）またはSDHCカード（4GB～32GB）

※パナソニック（Panasonic）・東芝（TOSHIBA）・サンディスク（SanDisk）・ATP
上記以外のメーカーのSDカード（SDHCカードを含む）では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

撮影する前に、SDカードを入れてください。本機にはSDカードのスロットが2つあります。動画の場合、SDカードを2枚入れると、1枚がいっぱいになっても、もう1枚を使って撮影を続けられます。

■両方のスロットにSDカードを入れるとき

➡動画および静止画を保存するスロットを、それぞれ選択できる(P.102)
(動画の場合、SDカードの空き容量がなくなると、動画の保存先を自動的に別のスロットに切り替えます。ただし、切り替え中の映像は撮影されません)

■動画の保存先を別のスロットに切り替えないとき

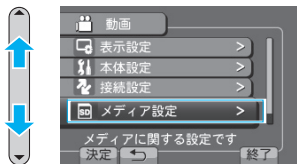
➡「自動記録メディア切替」を「切」にする(P.91)

本機ではじめて使うSDカードはフォーマットする

準備
- データが消去されるため、ほかの機器で使ったSDカードを使うときは、SDカード内のファイルをほかの機器にコピーする
- フォーマットしないSDカードを、本機から取りはずす

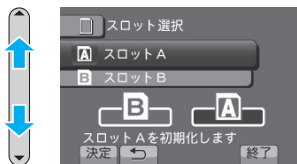
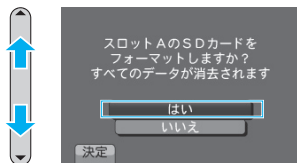
1 画面を閉じて開ける
(電源が入る)

2 MENU をタッチする
(メニューが表示される)

3 スライダーで「メディア設定」を選び、OK をタッチする

4 「SDフォーマット」を選び、OK をタッチする

5 SDカードを入れたスロットを選び、OK をタッチする

6 「ファイル」を選び、OK をタッチする

終了するとき

7 「はい」を選び、OK をタッチする

8 OK をタッチする

準　備 4 基本操作を覚えよう

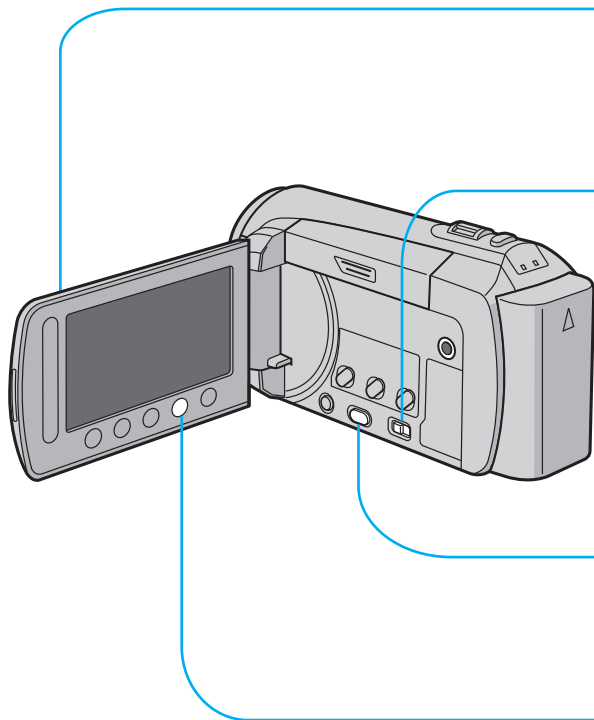
準 備 ●バッテリーを取り付ける（P.27）
●SDカードを入れる（P.28）

■撮影したあとは
➡万一に備えて、画像をパソコンやDVD、ビデオ機器などに定期的に保存してください（P.61）

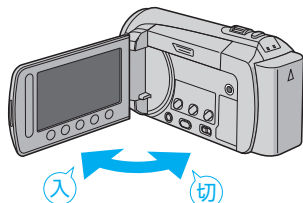
電源を入／切する
画面の開閉
電源ボタン

動画／静止画を選ぶ
🎥/📷スイッチ

撮影／再生を選ぶ
PLAY/REC ボタン

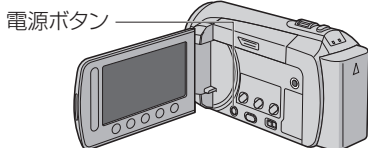
オート／マニュアルを選ぶ
AUTO/MANUAL ボタン

お知らせ

●はじめて撮影するときは、時計を設定します（P.4）。
●画面を閉じると、電源／充電ランプが点滅します。（本体設定メニューの「高速起動」を「入」にしているとき（P.100））

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準備の操作として説明を省略しています。

画面を開閉すると、電源を入／切できる

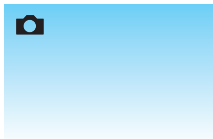
●5分以内に再び開くと、すぐに電源が入ります。（高速起動「入」のとき）

●電源ボタンを長く押すと、画面を開けたまま、電源を入／切できます。

電源ボタン

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。（バッテリー使用時のみ）

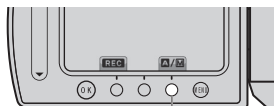
左右にスライドして、切り換える

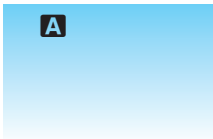
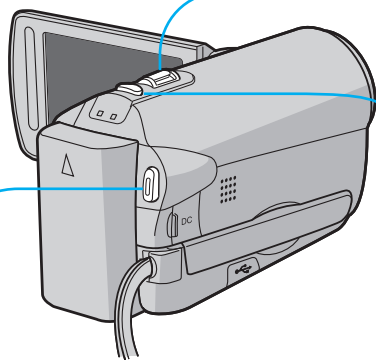
■動画

■静止画

PLAY／REC

押す度に、切り換わる

■撮影モードのとき

■再生モードのとき

A/Mをタッチする度に切り替わる（撮影時のみ）

■オート撮影のとき

■マニュアル撮影のとき

撮影 再生 1

動画を撮る

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

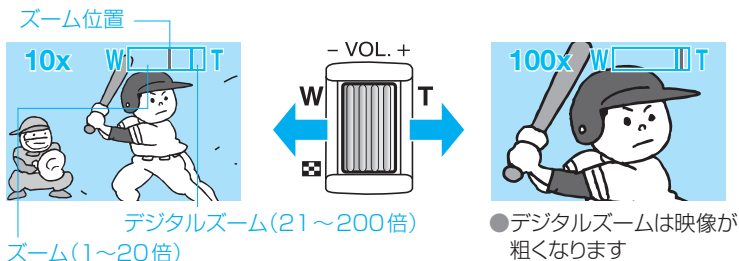
■ライトで照らすとき➡(P.90)

■逆光補正するとき
➡「逆光補正」(P.95)

■映像に効果をつけて撮るとき
➡「エフェクト」(P.95)

お知らせ
- 連続して12時間撮影すると、自動的に停止します。メニューの「自動記録メディア切替」(P.91)を「入」にしている場合は、撮影した動画を保存したあと、新しいファイルとして自動的に撮影を再開します。撮影の再開には、多少時間がかかります。
- 長時間の連続撮影では、自動的に最大4GBのファイルで分割されます。

オート撮影(P.30)では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.30)では、メニューを使って調整できます(P.89)。

●デジタルズームは映像が粗くなります

■静止画サイズは
➡「1920×1080」(画面比は16：9)に固定される

■画質を変更するとき
➡「静止画画質」(P.93)

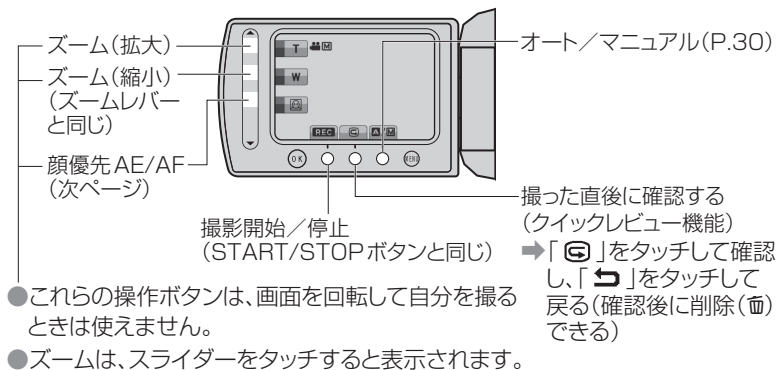
お知らせ

●セルフタイマーや連写など、静止画専用の機能は利用できません。

■撮影時の操作ボタン

➡「 」をタッチして確認し、「 」をタッチして戻る(確認後に削除( )できる)

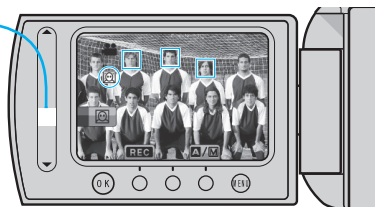
●これらの操作ボタンは、画面を回転して自分を撮るときは使えません。
●ズームは、スライダーをタッチすると表示されます。

準備
撮影・再生
編集・保存
DVD作成
メニュー
困ったとき

動画を撮る（つづき）

人物を撮る（顔優先 AE/AF）

●「[顔]」をタッチする度に…

[顔]：顔優先 AE/AF
人物の顔に枠が付き、
フォーカスと明るさが
自動的に調節される

（なし）：通常の撮影

お知らせ
●人物の顔の枠は、最大で16個まで表示されます。
●撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。
●正しい効果が得られない場合は、顔優先 AE/AF 機能を切ってお使いください。

自然な色合いに調整する（ホワイトバランス）

準備
●マニュアル撮影にする（P.30）
●メニューを表示し（P.89）、「マニュアル設定」を選び、OK をタッチする

1 マニュアル設定メニューの「ホワイトバランス」で「マニュアル」を選び、OK をタッチする

2 光源に合わせて設定を選び、OK をタッチする

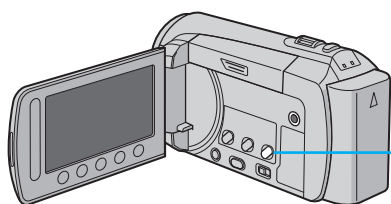
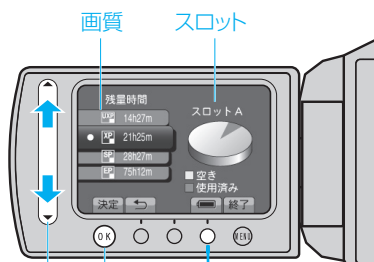
ワンタッチ：（下記）
はれ：晴れた日の屋外で撮る
くもり：曇りの日や日陰で撮る
ハロゲン：撮影用ライトなど照明下で撮る

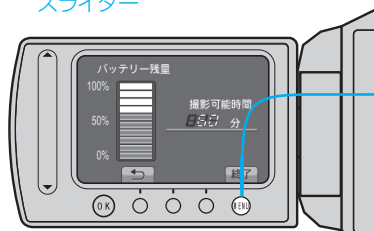
■色の不自然さが解消されないとき（ワンタッチ）
（1）光源に当たっている白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する。
（2）上の手順②で「ワンタッチ」を選び、OK をタッチし続ける。
（「ワンタッチ」が点滅する）
（3）メニューが消えたら、OK から指を放す。

■解除するとき
➡手順①で「オート」を選ぶ

人物を撮るとき、被写体の顔に明るさとピントを合わせます。（顔優先 AE/AF）
光の状態による色合いを補正します。（ホワイトバランス）

残量時間やバッテリー残量を調べる

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画

DIRECT DISC 押す
INFO
（残量時間が表示される）

2 DIRECT DISC 押す
INFO
（もう一方のスロットの残量時間が表示される）

3 「▭」をタッチする
（バッテリー残量が表示される）

4 MENU（終了）をタッチする
●またはINFOボタンを押す。

バッテリー残量
100%
50%
0%
撮影可能時間
分
終了

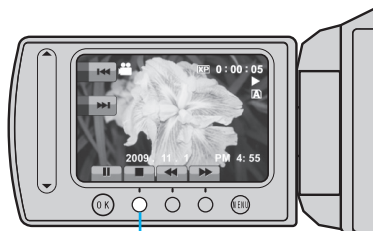
■もう一方のスロットのSDカードに動画を保存するとき
➡手順②のあとで、OK（決定）をタッチする
（静止画のとき➡P.102）

■動画の画質を変更するとき
➡手順①または手順②で、スライダーで画質を選び、OK（決定）をタッチする（残量時間が変化します）

撮影再生 2

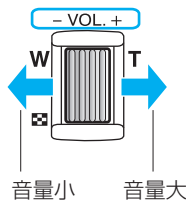
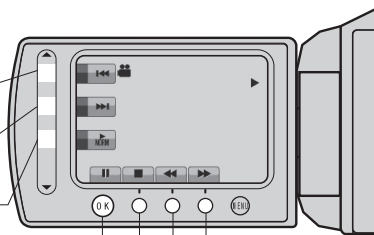
動画を見る

準備
- ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
- ●PLAY/RECボタン：再生モード
- ●テレビで見るとき(P.50)

1 スライダーで動画を選ぶ

2 OK(▶)をタッチする

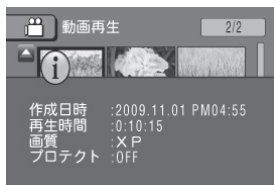
(再生が開始される)

3 「■」をタッチする

(停止し、一覧表示に戻る)

●早送り／早戻し中は、「◀◀」または「▶▶」を押すごとに、再生速度が変化する。(±4段階)

撮影した動画を、一覧表示から選んで再生できます。

■動画が見つからないとき
➡メディア設定メニューの「動画スロット選択」を変更する(P.102)
(選択したSDカードスロット内の動画が、一覧表示されます)

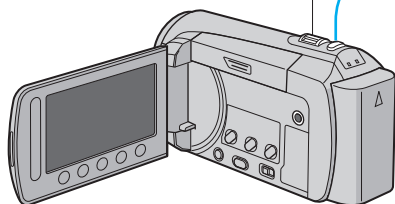
■撮影日や撮影時間などを見るとき
➡一時停止中、または一覧表示画面で
動画を選び、INFOボタンを押す

■再生中の動画の1コマを静止画にするとき
➡一時停止中にSNAPSHOTボタンを押す
(静止画サイズは「1920×1080」、
画面比は16：9に固定されます)

■一覧表示での操作ボタン

●ダイジェスト再生
➡多くの動画を数秒間ずつ再生し、短時間で確認できる。

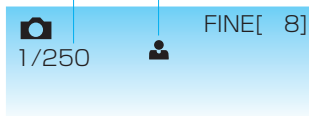
静止画を撮る／見る

静止画を撮る

準備 ●🎥/📷スイッチ：📷静止画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 SNAPSHOT **半押しする**
（ピントを合わせる）

シャッター速度
ピントが合うと緑色に点灯

📷 1/250 FINE[8]

2 SNAPSHOT **全押しする**
（シャッターを切る）

■ズームするとき
➡ズームの操作（P.32）
●最大ズーム倍率：20倍
●デジタルズームは利用できません。

■人物を撮るとき ➡（P.34）

■連写するとき
➡「シャッターモード」（P.93）

■ライトで照らすとき
➡「ライト」（P.92）

■逆光補正するとき
➡「逆光補正」（P.95）

■セルフタイマーを使うとき
➡「セルフタイマー」（P.92）

■記念撮影するとき
➡「セルフタイマー」の「顔検出」（P.92）

■撮った直後に確認するとき
➡（P.33）

■画像サイズや画質を変更するとき
➡「静止画サイズ」（P.93）
➡「静止画画質」（P.93）

■もう一方のスロットのSDカードに静止画を保存するとき
➡「静止画スロット選択」（P.102）

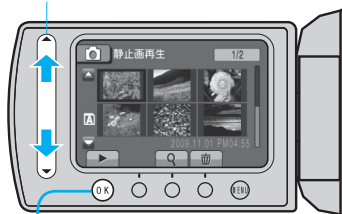
お知らせ ●静止画の撮影時は、手ぶれ補正が働きません。

オート撮影（P.30）では、明るさやピントが自動的に調整されます。
マニュアル撮影（P.30）では、メニューを使って調整できます（P.89）。
撮影した静止画を、一覧表示から選んで再生できます。

静止画を見る

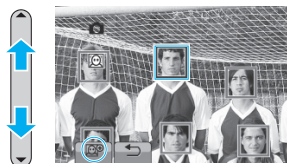
準備
- ●🎥/📷スイッチ：📷静止画
- ●PLAY/RECボタン：再生モード
- ●テレビで見るとき（P.50）

1 スライダーで静止画を選ぶ

静止画を選ぶ（スライダー）

2 OK（▶）をタッチする

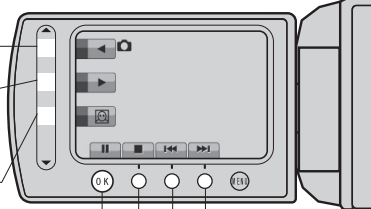
■一覧表示に戻すとき
➡「■」をタッチする

■撮影日や撮影時間などの情報を見るとき
➡INFOボタンを押す（P.19）

■顔優先再生ズームするとき
（1）「顔アイコン」をタッチする。
（2）顔を選び、OK（顔＋アイコン）をタッチする。

戻る
保存する
別の人物を選ぶ

■再生中の操作ボタン

●一覧表示のとき➡（P.37）

（スライドショー中）
逆順再生
（スライドショー中）
正順再生
（一方のみ表示）
顔優先再生ズーム開始
スライドショー開始／一時停止
（顔優先再生ズーム中）ズーム
停止（一覧に戻る）
次の静止画に進む
前の静止画に戻る

撮影 再生 4

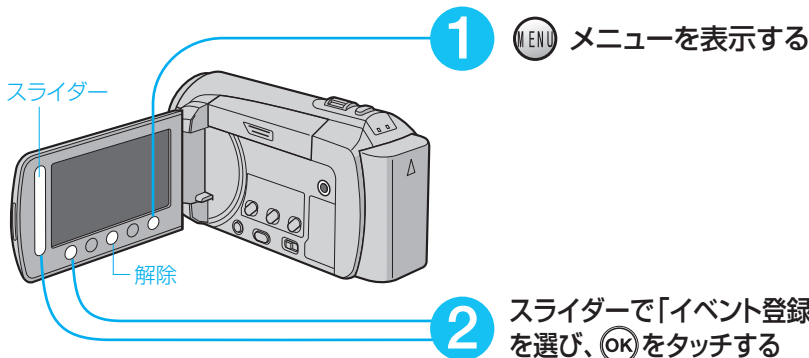
イベントを登録する

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 MENU メニューを表示する

2 スライダーで「イベント登録」を選び、OK をタッチする

3 イベントの種類を選び、OK をタッチする

●以後、撮影する動画に選んだイベントが記録され、画面にアイコンが表示されます。(P.22)
(変更するまで同じイベントが記録され続けます)

■終了するとき
➡ MENU（終了）をタッチする

■イベントの登録をやめるとき
➡手順③で「解除」をタッチする
（イベントの登録後に表示されます）

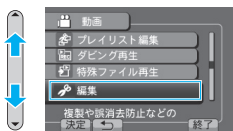
動画を撮影する前に「旅行」「運動会」「ペット」などのイベントを登録しておくと、検索や整理が楽になります。

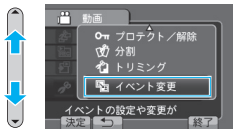
一度記録したイベントを変更するとき

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード
●一覧表示で、イベントを変更する動画を選ぶ

1 MENU を押し、「編集」を選び、OK をタッチする

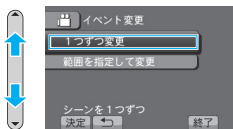
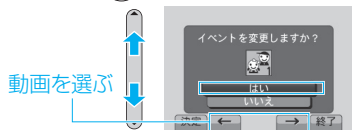
2 「イベント変更」を選び、OK をタッチする

3 「1つずつ変更」を選び、OK をタッチする

4 動画を選んで、「はい」を選び、OK をタッチする

5 変更後のイベントを選び、OK をタッチする

■終了するとき

➡ MENU（終了）をタッチする

■複数の動画をまとめて変更するとき

（1）手順③で「範囲を指定して変更」を選び、OK をタッチする。
（2）動画（ここから）を選び、OK をタッチする。
（3）動画（ここまで）を選び、OK をタッチする。
（4）イベントを選び、OK をタッチする。

撮影再生 5

探して見る（グループ分け）

準備 ●🎥／📷スイッチ：どちらでも
●PLAY/RECボタン：再生モード

■終了するとき
➡MENU（終了）をタッチする

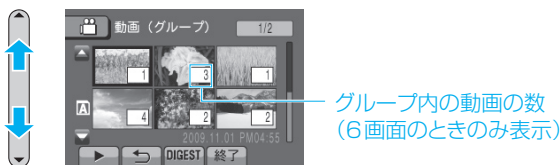
■中止するとき
➡「⮌」をタッチする

■短時間で内容を確認するとき
➡ダイジェスト再生する（P.37）

動画を撮影日時でグループ分けしたり、動画や静止画を撮影日で検索したり、動画をイベントの種類と撮影日ごとにまとめて表示したりできます。

撮影日時が近い動画をひとつのグループに自動的にまとめ、連続して再生できます。

①グループを選び、OK をタッチする

グループ内の動画の数（6画面のときのみ表示）

お知らせ
- グループは、撮影日時を元に自動的に作成されます。
- 撮影を続けると、グループは変更されることがあります。

同じ日に撮影した動画や静止画だけを、一覧表示します。

①撮影日を選び、OK をタッチする

選んだ撮影日

②動画や静止画を選び、OK をタッチする

- 選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される。

■動画や静止画が見つからないとき

➡「動画スロット選択」や「静止画スロット選択」を変更する（P.102）
（選択したSDカードスロット内の動画や静止画が、一覧表示されます）

準備 撮影・再生 編集・保存 DVD作成 メニュー 困ったとき

探して見る（つづき）

イベントと撮影日から探す

イベント検索

イベントの種類と撮影日ごとにまとめて動画を表示します。
（設定されていないイベントは、表示されません。）

（P.42の手順②で「イベント検索」を選び）

①イベントの種類を選び、OK をタッチする

②撮影日を選び、OK をタッチする

●選んだイベントを含む撮影日のみ表示される。

③動画を選び、OK をタッチする

●選んだ日に撮影した動画のみ表示される。

●選んだイベントのすべての動画を見るとき
➡手順②で「すべて」を選ぶ

撮影 再生 6

動画や静止画を削除する

●🎥／📷スイッチ：どちらでも
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 スライダーで画像を選ぶ

動画を選ぶ（スライダー）

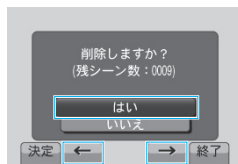
2 「🗑」をタッチする

3 「はい」を選び、OK（決定）をタッチする

別の画像を選べる

■終了するとき
➡MENU（終了）をタッチする

■「プロテクトがかかっています」と表示されたとき
➡プロテクトを解除する（P.97、98）

■複数の画像をまとめて削除するとき
➡再生メニューの「削除」（P.96）

■画像を探して削除するとき
（1）日付検索（P.42）やイベント検索（P.44）で、削除する画像を探す。

（イベント検索の場合）

（2）再生メニューの「削除」で「選択して削除」を選び、画像を削除する（P.96）。

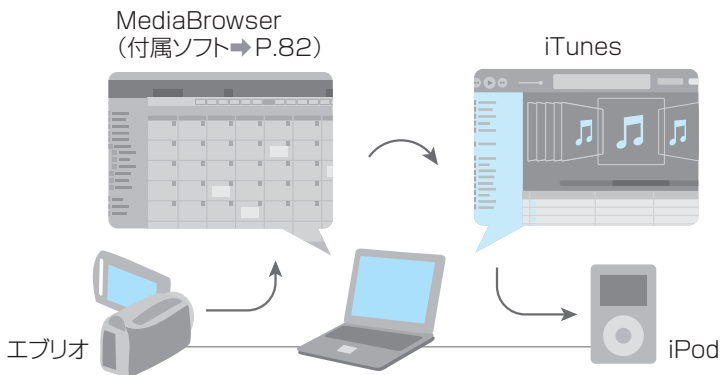
YouTube™とは?

YouTube™は、インターネットにある無料の動画共用サービスです。撮った動画をアップロードすると、家族や友達に簡単な操作で見てもらえます。世界中に公開することもできます。

■YouTube™の使いかたを知るには

➡YouTube™のホームページの「ヘルプ」をお読みください
http://www.youtube.com/

iTunesとは?

iTunesは、音楽や動画を見やすく整理し、再生するソフトウェアです。撮った動画を再生するのはもちろん、iPodに転送してiPodで見ることができます。

■iTunesの使いかたを知るには

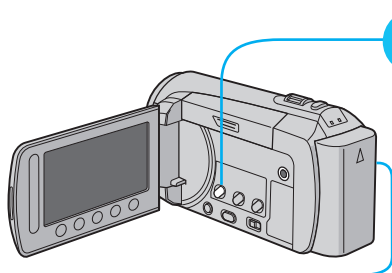
➡iTunesのホームページをお読みください
http://www.apple.com/jp/itunes/

撮影 再生 7

YouTube™用の動画を撮る

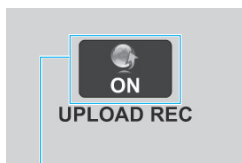
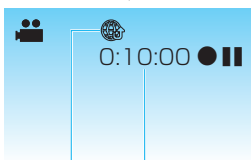
動画共有サイトのYouTube™にアップロードするときは、🌐を表示してから撮影すると、簡単にアップロードできます。
YouTube™については➡http://www.youtube.com/

YouTube™

準備 ●🎥／📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 何度か押し、ONと表示する

●押す度に、ONとOFFに切り替わる。

ONと表示

数秒後

撮影可能時間（10分）

アップロード撮影

2 START/STOPボタンを押す

（撮影を開始）➡（P.32）

●もう一度押すと停止し、🌐が消える。
●10分間撮り続けると、自動的に停止して🌐が消える。

■解除するとき（🌐を消すとき）
➡手順①でOFFと表示する

■撮影済みの動画をYouTube™用に変更するとき➡（P.56）

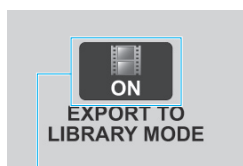
■YouTube™にアップロードするとき
➡パソコンに付属ソフトMediaBrowserをインストールし（P.82）、本機を接続します。操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください（P.80）。
➡アップロード時に、ハイビジョン画質から標準画質に変換されます
➡アップロードできないとき（P.108）

撮影再生 8

iTunes用の動画を撮る

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：撮影モード

1 何度か押し、ONと表示する

●押す度に、ONとOFFに切り替わる。

2 START/STOPボタンを押す

（撮影を開始）➡（P.32）

■解除するとき（「LIB.」を消すとき）

➡手順①でOFFと表示する

■iPodに入れるとき

（1）パソコンに付属ソフトMediaBrowserをインストールし（P.82）、本機を接続します。操作については、同ソフトのヘルプをご覧ください（P.80）。

（2）iPodへの転送については、iTunesのヘルプをごらんください。

■iTunesに転送できないとき➡（P.108）

アップル社のソフトiTunes用の動画を撮影できます。付属ソフトMediaBrowserを使って動画をiTunesに転送し、iPodで再生できます。iTunesとiPodについては➡http://www.apple.com/jp/itunes/

撮影後にiTunes用の動画に変更するとき

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1

押す
（手順②の画面が表示される）

2 **動画を選び、OK（LIB.）をタッチする**

「LIB.」が表示

●別の動画を選ぶとき
➡手順②を繰り返す

3 **MENU（完了）をタッチする**

4 **「はい」を選び、OKをタッチする**

■解除するとき（「LIB.」を消すとき）

➡手順②で再び選び、OK（LIB.）をタッチする

■確認するとき

（1）EXPORTボタンを押す。
（2）動画の「LIB.」マークを確認する。
（3）MENU（完了）をタッチする。

お知らせ

●ほかの画面の一覧表示では「LIB.」マークは表示されません。

準備 撮影・再生 編集・保存 DVD作成 メニュー 困ったとき

撮影 再生 9

テレビで見る

準備 ●🎥／📷スイッチ：どちらでも
●テレビの電源を入れる
●お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 （D端子ケーブルを使うときは）
接続設定メニューの「コンポーネント出力」でテレビの端子を選ぶ（P.101）

3 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子からの入力に切り換える

4 再生する
●動画➡（P.36）
●静止画➡（P.39）

🎥📷 デジタル方式でハイビジョンテレビに接続する

HDMI端子

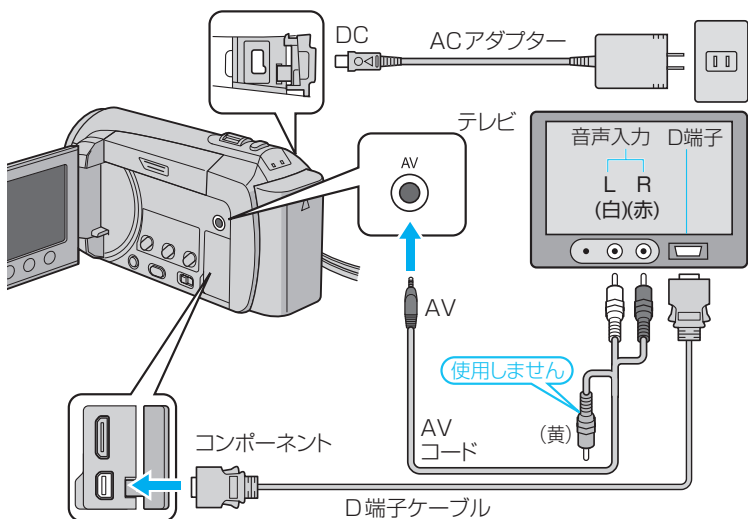
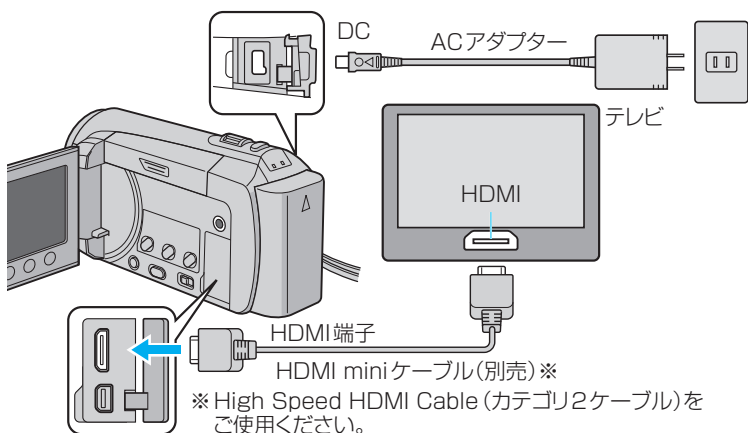
🎥📷 アナログ方式でハイビジョンテレビに接続する

D端子

従来型テレビ
（P.52）

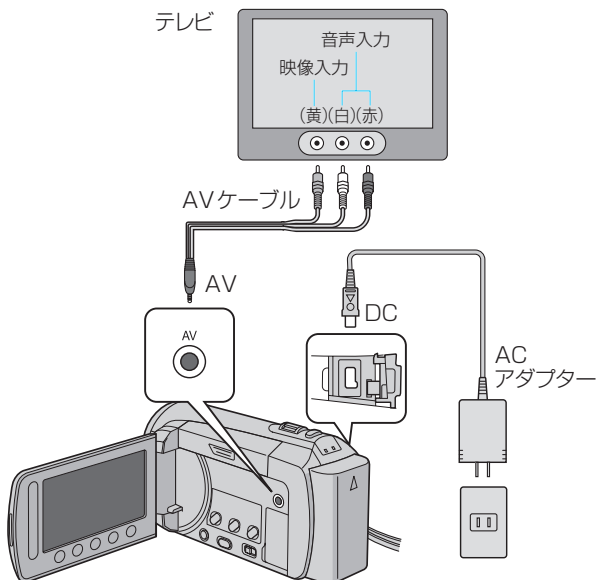
■日時などを表示したいとき
(1)接続設定メニューの「テレビ表示」を「入」にする（P.101）。
(2)メニューの「画面表示」で「日付のみ表示」を選ぶ（P.98）。

ハイビジョンテレビをお使いの場合、HDMI miniケーブル(別売)または専用D端子ケーブル(付属)をお使いください。

※High Speed HDMI Cable(カテゴリ2ケーブル)をご使用ください。

テレビで見る（つづき）

従来型テレビに接続する

AV端子

テレビ
音声入力
映像入力
（黄）（白）（赤）
AVケーブル
AV
DC
AC アダプター

■テレビの表示が不自然なとき

●テレビに正常に表示されない
➡HDMI miniケーブルを抜き差しする
➡本機の電源を入れ直す

●テレビに縦長に映る
➡接続続設定メニューの「ビデオ出力」を「4：3」（P.101）

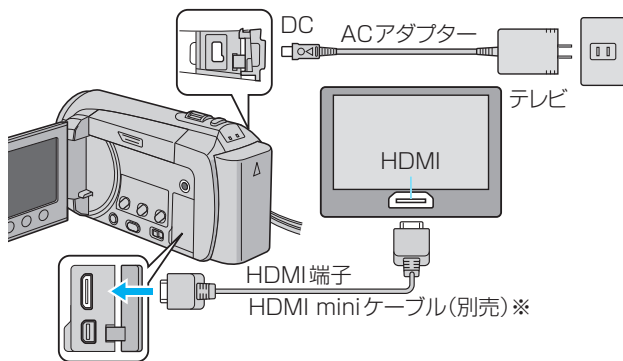
●テレビに横長に映る
➡テレビ側で画面を調整する

●不自然な色で映る
➡メニューの「x.v.Color」（P.91）を「入」にして撮影したときは、テレビ側の設定をx.v.Colorにする
➡テレビ側で画面を調整する

撮影
再生
10 テレビとのHDMI連動機能を使う

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）規格に対応するテレビをお使いの場合、本機とテレビを連動させることができます。

準 備
●テレビのHDMI機器制御機能を有効にする
●🎥/📷スイッチ：どちらでも
●PLAY/RECボタン：再生モード
●接続設定メニューの「HDMI機器制御」を「入」にする（P.101）
（お買い上げ時は「入」に設定されています）
●お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください

1 HDMI miniケーブルでテレビに接続する
（テレビの電源が入り、本機の画面がテレビに表示される）

※High Speed HDMI Cable（カテゴリ2ケーブル）をご使用ください。

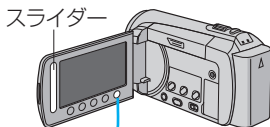
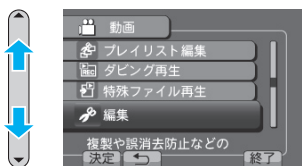
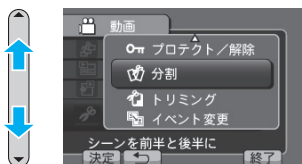
■電源を切るとき
➡テレビのリモコンを使って、テレビの電源を切る
（連動して本機の電源も切れる。本機が記録中やフォーマット中のときは、電源が切れない場合があります）

■本機が正常に動作しないとき
➡USBケーブルを使用しているときは、USBケーブルを取りはずす
➡テレビの電源を入れたまま、本機の電源を入れ直す
➡接続設定メニューの「HDMI機器制御」を「切」にする（P.101）
（HDMI CEC規格に対応したすべてのテレビとの接続において、本機の動作を保証するものではありません）

編集 保存 1

動画を分割する

準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 メニューを表示する

2 スライダーで「編集」を選び、OKをタッチする

3 「分割」を選び、OKをタッチする

4 動画を選び、OKをタッチする

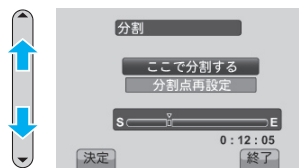
（選んだ動画が再生される）

中止するとき

再生中の操作

動画を分割し、2つの動画にできます。

5 分割する位置で一時停止し、「設定」をタッチする

6 「ここで分割する」を選び、OKをタッチする

7 OKをタッチする

（一覧表示から元の動画が消え、新しい動画が2つ表示される）

■終了するとき➡ MENU （終了）をタッチする

お知らせ
- 分割点は、選んだ場面から多少ずれることがあります。
- YouTube™用の動画（P.47）やiTunes用の動画（P.48、49）は分割できません。
- 分割した動画は、iTunes用の動画に変更（P.49）できません。

編集 保存 2

部分をコピーする(トリミング)

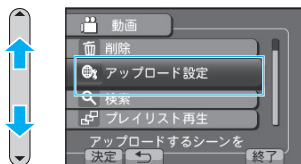
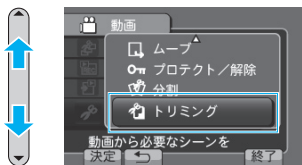
準備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 MENU メニューを表示する

●YouTube™用の動画をつくるとき
(手順②はない)

2 スライダーで「編集」を選び、OK をタッチする

3 「トリミング」を選び、OK をタッチする

3 「アップロード設定」選び、OK をタッチする

4 動画を選び、OK をタッチする

(画面はトリミングの場合)

(選んだ動画が再生される)

中止するとき

再生中の操作

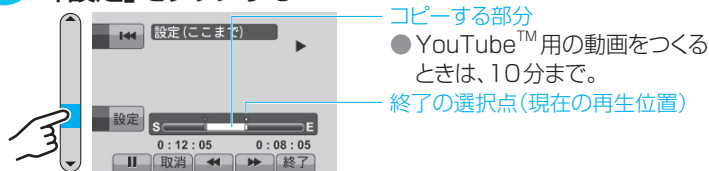
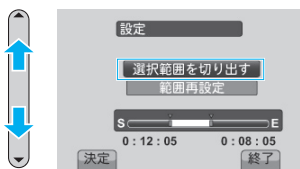
動画の必要な部分だけをコピーし、新しい動画として保存できます（トリミング）。普通に撮った動画からYouTube™にアップロードする部分だけをコピーし、YouTube™用の新しい動画として保存します（アップロード設定）。

❺ コピーを始める位置で一時停止し、「設定」をタッチする

❻ 再生したあと、コピーを終える位置で一時停止し、「設定」をタッチする

コピーする部分

● YouTube™用の動画をつくるときは、10分まで。

終了の選択点（現在の再生位置）

❼ 「選択範囲を切り出す」を選び、OKをタッチする

❽ 「はい」を選び、OKをタッチする

（コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加される）

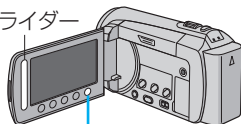
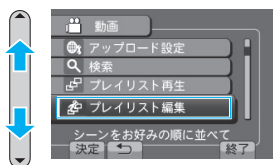
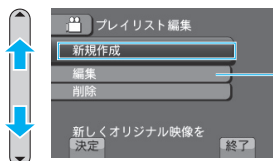
■終了するとき➡ MENU（終了）をタッチする

お知らせ ●選択点は、選んだ場面から多少ずれることがあります。

編集 保存 3 プレイリストをつくる

準備
●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

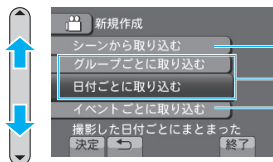
1

MENU **メニューを表示する**

2 **スライダーで「プレイリスト編集」を選び、OKをタッチする**

3 **「新規作成」を選び、OKをタッチする**

プレイリストを編集するとき（プレイリストを選び、次ページと同様に操作する）

4 **作成方法を選び、OKをタッチする**

■終了するとき ➡ MENU（終了）をタッチする

■プレイリストを再生するとき ➡（P.60）

🎥

撮影日で動画を選ぶ

日付ごとに取り込む

グループで動画を選ぶ

グループごとに取り込む

シーンから取り込む

イベントごとに取り込む

動画ファイルを並べた一覧を、プレイリストと呼びます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

撮影日（またはグループ）を選び、その日に撮影した動画（またはグループ内の動画）をまとめて選んで並べます。

①撮影日（またはグループ）を選び、OK をタッチする

プレイリスト

撮影日　最初に撮影した動画

●内容を確認するとき
➡撮影日（またはグループ）を選び「確認」をタッチする
（選んだ動画を確認するときは、OK（再生）をタッチする）

②挿入位置を選び、OK をタッチする

（選んだ撮影日（またはグループ）に含まれる動画がすべて、プレイリストに追加される）

●プレイリストに追加した動画を消す
➡「➡」をタッチして消したい動画を選び、OK（取消）をタッチする

③手順①～②を繰り返し、撮影日（またはグループ）を並べる

④「保存」または MENU（終了）をタッチする

⑤「保存して終了」を選び、決定する

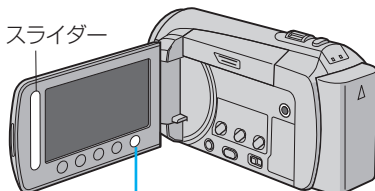
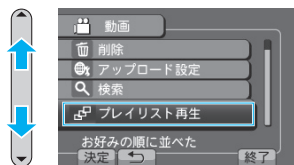
（インデックス画面に戻る）

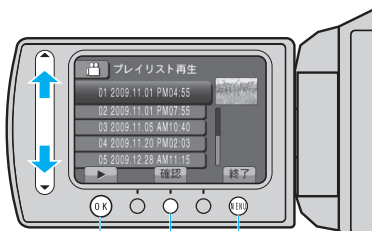
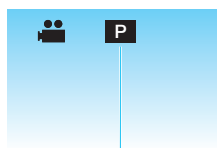
■動画を１つずつ選ぶとき
➡上の手順①で動画を選ぶ。以後の操作は同じ。

■イベントと撮影日で動画を選ぶとき
➡イベントを選び、OK をタッチする。以後の操作は、上の「日付ごとに取り込む」と同じ。

編集 保存 4 プレイリストを見る

準備 ●/スイッチ：動画
●PLAY/RECボタン：再生モード

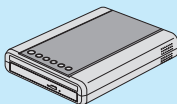
❶ MENU メニューを表示する

❷ スライダーで「プレイリスト再生」を選び、OK をタッチする

❸ プレイリストを選び、OK をタッチする

（プレイリストが再生される）

■終了するとき

➡ MENU（終了）をタッチする

画像をバックアップする

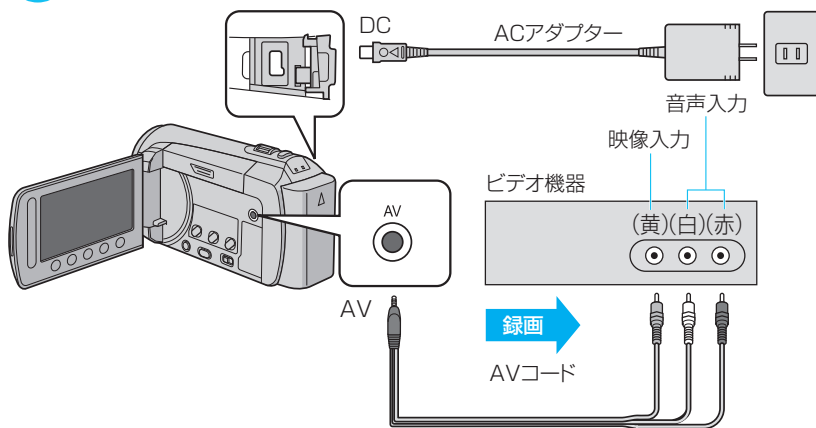
撮影した画像(動画と静止画)は、SDカードに記録されます。
本機やSDカードの故障、静電気などによるデータの損傷や消失に備えて、撮影した画像は、パソコンやDVD、ビデオ機器などに保存(バックアップ)しましょう。

これを使って…	こんなことができます
動画 ビデオ機器で	標準画質でDVDやテープに保存する(次ページ)
動画・静止画 DVDライターなどで	ハイビジョン画質でDVDに保存する(※)(P.70) ■ブルーレイディスクに保存するとき ➡(P.79) ■再生するとき ➡(P.77)
パソコンで ●対応するパソコン ➡(P.81) ●付属ソフトのインストール➡(P.82)	パソコンに保存する(P.83) ▼ ハイビジョン画質でディスクに保存する(P.86)
外付型ハードディスクに	ハイビジョン画質で保存する(P.66)

※ DVDライターまたは記録型ブルーレイドライブをお使いの場合、標準画質ではDVDに保存できません。さらに、画質UXPで撮影した動画は、DVDに保存できません。

ビデオ
保　存 1

ビデオ機器にダビングする

準 備 ●🎥/📷スイッチ：🎥動画
●お使いのビデオ機器とテレビの説明書もご覧ください

1 接続する

2 PLAY/REC ボタンで再生モードにする

3 ビデオ機器で録画を開始し、本機で再生する

■終了するとき➡ビデオ機器と本機を停止する

■ビデオ機器に接続するテレビの画面比（4：3または16：9）に合わせる
➡接続設定メニューの「ビデオ出力」（P.101）

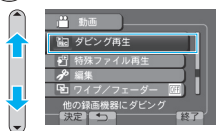
■日付を付けてダビングするとき
(1) 接続設定メニューの「テレビ表示」を「入」にする（P.101）。
(2) メニューの「画面表示」で「日付のみ表示」を選ぶ（P.98）。

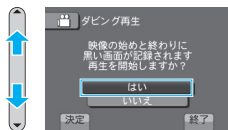
HDDレコーダーやビデオ機器などに接続して、動画をダビングできます。
プレイリストでお好みの動画を集め、ダビングすることもできます。

プレイリストをダビングする

再生側（本機）

2 メニューを表示する

3 「ダビング再生」を選び、OKをタッチする

4 プレイリストを選び、OKをタッチする

5 「はい」を選び、OKをタッチする

始めと終わりに黒画面が入ります

録画側（ビデオ機器）

1 録画の準備をする

・ビデオカメラを接続した端子に、外部入力を切り替える。
・DVD-Rなどやビデオテープを入れる。

お知らせ

● ダビングの前に手順⑤までを行い、ビデオ機器に本機の映像を入力できることを確認してください。

6 黒画面が表示されているうちに
録画を開始する

（ダビング中）

7 黒画面が表示されているうちに
録画を停止する

・映像の最初と最後に約５秒間の黒画面が入る。

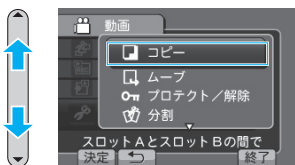
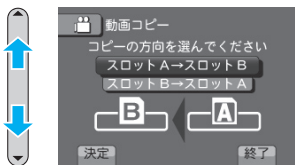
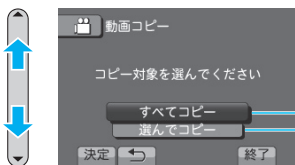
準備 | 撮影・再生 | 編集・保存 | DVD作成 | メニュー | 困ったとき

コピー ムーブ 1

別のSDカードに移す

準備 ●🎥/📷スイッチ：動画または静止画
●PLAY/RECボタン：再生モード

1 メニューを表示し、「編集」を選び、OKをタッチする

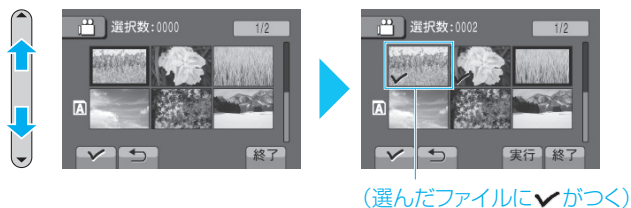
2 「コピー」または「ムーブ」（移動）を選び、OKをタッチする

3 コピーまたはムーブの方向を選び、OKをタッチする

4 ファイルを選ぶ方法を選び、OKをタッチする

■終了するとき ➡ MENU（終了）をタッチする

動画や静止画を２枚のSDカードのあいだでコピーしたり、
ムーブ（複製せずに移動）させたりできます。

すべてのファイルをコピーまたはムーブ（移動）します。

①「はい」を選び、OK をタッチする

選んだファイルだけをコピーまたはムーブ（移動）します。

①コピーまたはムーブ（移動）したいファイルを選び、OK（✓）をタッチする

（選んだファイルに✓がつく）

②手順①を繰り返し、ファイルを選ぶ

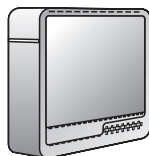
③「実行」をタッチする

④「はい」を選び、OK をタッチする

HDD 保存 1

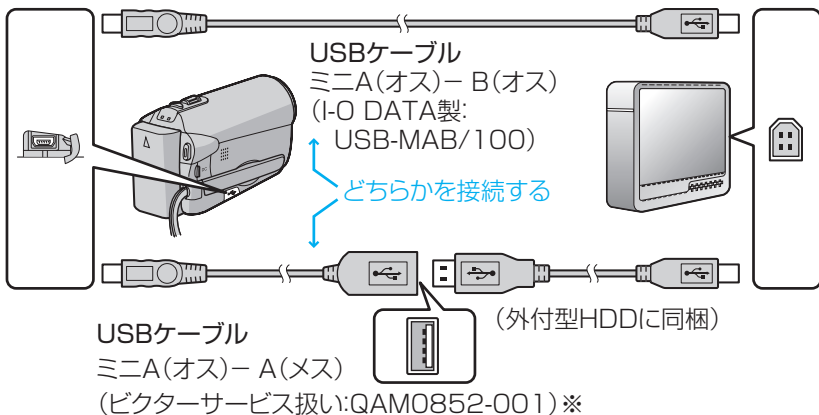
外付型ハードディスクに保存する

■対応する外付型HDD

I-O DATA（アイ･オー･データ機器）社の、
HDCN-UまたはHDCN-UAシリーズをお使いください。
2TBを超えるHDDは使用できません。

お知らせ

- 外付型HDDについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
  I-O DATA社 ：http://www.iodata.jp/everio/
  ビクター ：http://www.victor.co.jp/dvmain/gz-hm200
- 外付型HDDの取扱説明書をご覧ください。

■対応するUSBケーブル

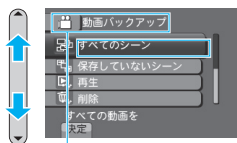
図のいずれかの市販のUSBケーブルをお買い求めください。
本機に付属するUSBケーブルは使用できません。

※同梱の青い紙の「ビクターサービス窓口案内」から最寄りの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

市販の外付型ハードディスク(以下、外付型HDD)をUSBケーブルで接続すると、動画や静止画を外付型HDDに保存したり、本機で再生したりできます。

すべての動画(または静止画)を保存する

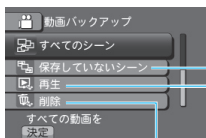
準備 ① 🎥/📷スイッチ:(保存するものに合わせる)
② 保存する画像が入っているスロット(AまたはB)を選ぶ
③ 外付型HDDを本機に接続し、電源コンセントに差し込む

1 「すべてのシーン」を選び、OKをタッチする

●静止画では➡「すべての画像」

🎥動画/📷静止画を確認する

2 「OK」を選び、OKをタッチする

●ファイルの保存が始まる

■その他の機能

(手順①の画面)

●保存していないシーン(保存していない画像)
外付型HDDに一度も保存していない動画または静止画を、まとめて保存できます。

●再生
外付型HDDの動画または静止画を、本機で再生できます。
エラーメッセージが表示されたとき➡(P.111)

●削除
外付型HDDから、動画または静止画をフォルダ単位で削除できます。

●フォーマット
外付型HDDから、すべてのファイルを削除できます。
実行する前に、必要なファイルをほかの機器にコピーしてください。
(パソコンでフォーマットしないでください。)

HDD保存 1（つづき）

外付型ハードディスクに保存する（つづき）

外付型HDDの使用上のご注意

■接続するとき

●「対応する外付型HDD」（P.66）以外では、動作を保証いたしません。

●本機と外付型HDDの間に、USBハブを接続しないでください。
DVDライター（別売）を使うときや、別の外付型HDDを使うときは、接続中の外付型HDDを本機から取りはずします。

■保存または再生するとき

●動画の保存には時間がかかります。
（例：画質 XP の場合、1時間の動画の保存に約10分かかる。）

●ファイルの保存中と再生中は、本機や外付型HDDの電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。

●外付型HDD、DVDディスク（P.70）、ブルーレイディスク（P.79）のファイルは、本機に戻せません。

●本機から削除したファイルは、外付型HDDに保存されていても、DVDライター（別売）でDVDに記録できません。

●再生中に、映像や音声が途切れることがあります。

■外付型HDDをパソコンに接続するとき

●パソコンでフォーマットしないでください。
パソコンでフォーマットした場合は、本機で改めてフォーマット（P.67）します。
ただし、外付型HDDのファイルはすべて削除されます。

●外付型HDDのファイルやフォルダは、パソコンで削除・移動・名前の変更をしないでください。本機で再生できなくなります。

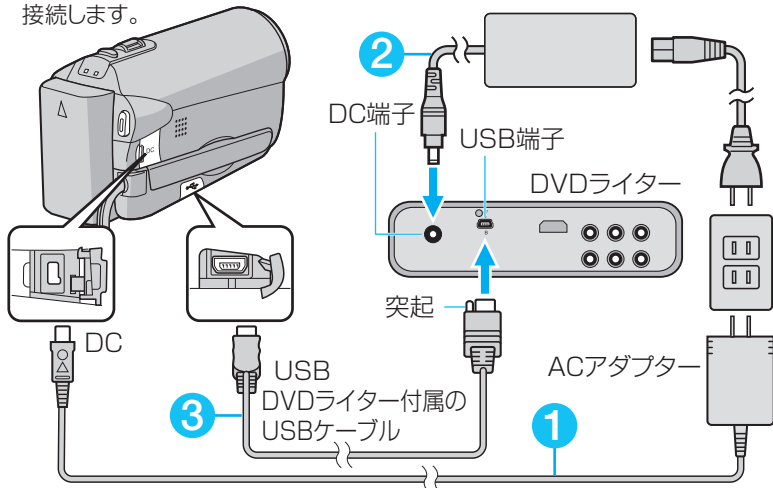
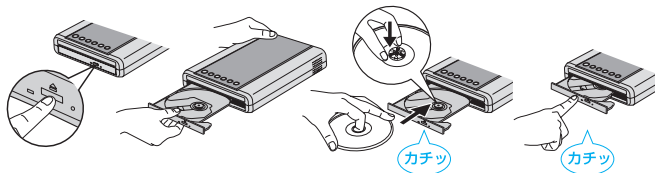
●外付型HDDのファイルをパソコンで編集するときは、あらかじめパソコンにコピーしてください。外付型HDDのファイルを直接編集すると、本機で再生できなくなります。

お知らせ

●外付型HDDをパソコンに接続すると、外付型HDDに保存したファイルをパソコンで再生したり、DVDなどに記録したりできます。パソコンでの操作については、付属ソフトMediaBrowserのヘルプをご覧ください（P.119）。

DVD
ライター 1

DVDライターを準備する

準備 ①保存する画像が入っているスロット(AまたはB)を選ぶ
②本機の画面:閉じる
●DVDライター(別売)の説明書もご覧ください

4 DVDライターの電源を入れ、新しいDVDをセットする

5 画面を開ける

(DVD作成の画面が表示される)

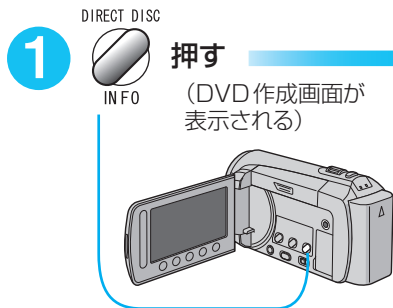
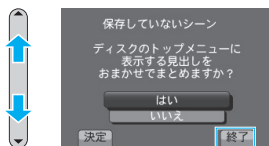
お知らせ ●DVDに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
●DVDライター(CU-VD50)のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、本機との接続中は機能しません。

DVDライター 2 DVDを簡単につくる

一度もDVDに保存していない動画をまとめてDVDに保存できます（ダイレクトディスク）。DVDはAVCHD対応機器で再生できます（P.77）。

準備
- DVDライターを準備する（P.70）
- 動画/静止画スイッチ：動画

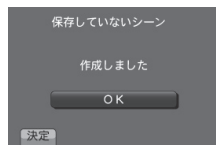
1 押す

（DVD作成画面が表示される）

2 どちらかを選び、OK（決定）をタッチする

中止するとき

- ディスクのトップメニューに…
  - ➡自動的にグループ分け（P.42）された動画が並ぶ
  - ➡撮影日ごとの動画が並ぶ

3 「作成開始」を選び、OKをタッチする

- 手順④の画面が表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。

4 OKをタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
  ➡新しいDVDに入れ替える

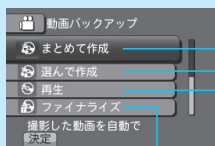
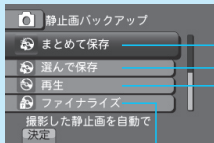
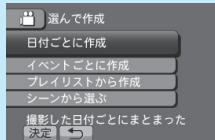
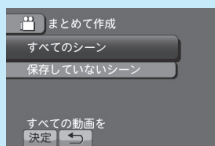
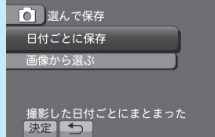
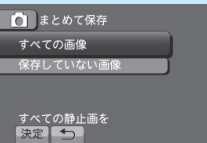
■以前にDVDライターで保存したことがある動画を、改めて保存するとき／静止画を保存するとき
➡（P.72）

■「ファイナライズしますか?」と表示されたとき

- DVDに追記する予定があるとき
  ➡「いいえ」を選び、決定する
- ほかの機器で再生するとき／追記を終えるとき
  ➡「はい」を選び、決定する
  （またはP.72で「ファイナライズ」を選ぶ）

DVDライター 3

DVDのつくりかた

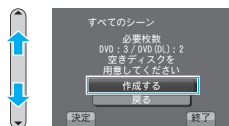
準備 ●DVDライターを準備する(P.70)
●🎥/📷スイッチ:(保存するものに合わせる)

ダイレクトディスクボタンを押す(P.71)ほかに、
さまざまな方法でDVDをつくることができます。
動画を保存したDVD(AVCHDディスク)は、AVCHD対応機器で再生できます(P.77)。

■DVD作成に失敗しないために
「作成しました」と表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたり、DVDライターや本機を動かしたりしないでください。

まとめて作成

●すべてのシーン
本機のなかのすべての動画を、ディスクに保存します。

●保存していないシーン
一度もDVDディスクに保存していない動画を、まとめてディスクに保存します。
(ダイレクトディスクと同じ)

①「作成する」を選び、OKをタッチする

➡次ページの手順③へ

選んで作成

●日付ごとに作成(次ページ)
選んだ日付に撮影したすべての動画を、ディスクに保存します。

●イベントごとに作成(P.75)
イベント(P.40)を選び、そのイベントを登録したすべての動画をディスクに保存します。

●プレイリストから作成(P.76)
作成したプレイリストを選び、プレイリストどおりの動画をディスクに保存します。

●シーンから選ぶ(P.75)
1つ、または複数の動画を選んでディスクに保存します。

まとめて保存

(「まとめて作成」と同様)

●すべての画像

●保存していない画像

選んで保存

(「選んで作成」と同様)

●日付ごとに保存(次ページ)

●画像から選ぶ(P.75)

お知らせ

●動画と静止画は同じディスクに保存できません。
●再生時に一覧表示されないファイルは(P.43)、保存できません。

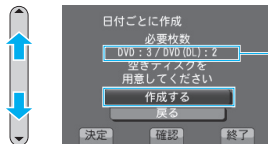
DVDのつくりかた（つづき）

日付ごとに作成

日付ごとに保存

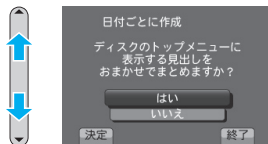
（P.72で「日付ごとに作成」または「日付ごとに保存」を選び）

①撮影日を選び、OKをタッチする

②「作成する」を選び、OKをタッチする

必要なディスクの枚数

保存するファイルを確認（⮌で戻る）

静止画➡④へ進む

③どちらかを選び、OKをタッチする

●ディスクのトップメニューに…
- ➡はい　：自動的にグループ分け（P.42）された動画が並ぶ
- ➡いいえ：撮影日ごとの動画が並ぶ

④「作成開始」を選び、OKをタッチする

「作成しました」と表示されるまで待つ。電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたり、DVDライターや本機を動かしたりしないでください。

⑤OKをタッチし、ディスクを取り出す

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡新しいディスクに入れ替える

イベントごとに作成

(P.72で「イベントごとに作成」を選び)

①イベントを選び、OKをタッチする

②➡(P.74 手順②へ)

シーンから選ぶ

画像から選ぶ

(P.72で「シーンから選ぶ」または「画像から選ぶ」を選び)

①ファイルを選び、OK(✓)をタッチする

選んだファイルに✓が付く

選んだファイルを確認(⮌で戻る)

② 手順①を繰り返し、ファイルを選ぶ

③「保存」をタッチする

④➡(P.74 手順②へ)

■「ファイナライズしますか?」と表示されたとき➡(P.71)

■作成したディスクを再生して確認するとき➡(P.77)

お知らせ
- 動画と静止画は同じディスクに保存できません。
- 「自動ファイナライズ」を「切」にすると(P.100)、「ファイナライズしますか?」と表示されます。
- 再生時に一覧表示されないファイルは(P.43)、保存できません。

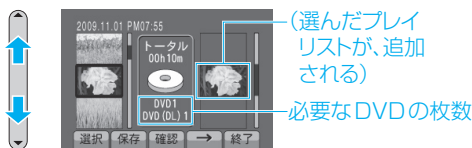
DVDのつくりかた（つづき）

プレイリストから作成

作成したプレイリスト（P.58）を選び、プレイリストどおりの動画をDVDに保存する。

（P.72で「プレイリストから作成」を選び）

①プレイリストを選び、OK（選択）をタッチする

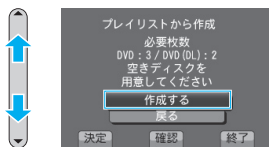
②挿入位置を選び、OKをタッチする
（右欄にプレイリストがあると、挿入位置を選べる）

③手順①～②を繰り返し、プレイリストを並べる

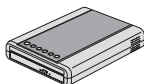
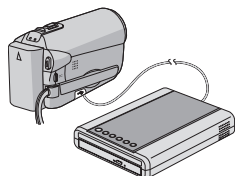
④「保存」をタッチする

⑤「作成する」を選び、OKをタッチする

⑥➡（P.74手順④へ）

DVD ライター 4

本機でつくったDVDを見る

■再生できる機器

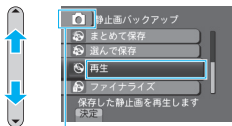
AVCHD対応機器
（ブルーレイレコーダーなど）
動画ディスクのみ

DVDライター
（CU-VD50）

本機に接続した
DVDライター

お知らせ ●上記以外の機器（標準画質のDVDプレーヤーなど）では再生できません。さらに、ディスクを取り出せなくなることがあります。

本機とDVDライターで見る

準 備 ①（テレビで見るとき）テレビに接続する（P.50）
②動画/静止画スイッチ：（再生するものに合わせる）
③DVDライターを準備する（P.70）の手順①〜③

1 本機でつくったDVDをセットする

2 「再生」を選び、OKをタッチする

動画／静止画を確認する

3 （静止画の場合）フォルダを選び、決定する

バックアップした年月日と数字（01〜99）

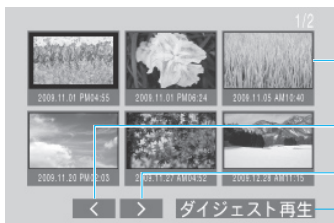
4 再生する（P.36、39）

お知らせ ●再生できるディスクは、本機でつくったDVDに限ります。

DVDライター 4（つづき）

本機でつくったDVDを見る（つづき）

AVCHD対応機器で見る

動画を保存したDVDはAVCHD規格に対応しているので、AVCHD対応ブルーレイレコーダーなどで再生できます。

タイトルのサムネイル
（プレイリスト、グループ、日付のいずれか）

前の画面に戻る

次の画面に進む

ダイジェスト再生を開始

お知らせ ●字幕対応のプレーヤーでは、字幕を表示すると動画の撮影日時が表示されます。

タイトル

■プレイリストから作成したとき（P.76）

➡プレイリストがタイトルになる（プレイリスト内の動画は、各タイトルのチャプターになる）

■P.74で「はい」を選んだとき

➡自動的にグループ分け（P.42）された動画が並ぶ

■P.74で「いいえ」を選んだとき

➡撮影日ごとの動画がタイトルになる

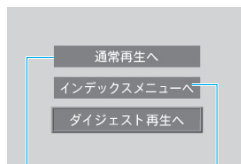
DVDライター（CU-VD50）だけで見る

DVDライター（CU-VD50）をテレビに接続すると、本機を接続しなくても、本機でつくったDVDを再生できます。
詳しくは、DVDライターの取扱説明書をご覧ください。

ダイジェスト再生

ディスク内の動画を、数秒ずつ連続して再生します。内容の確認や、見たいシーンを探すときにお使いください。

■通常の再生に戻るとき

➡（プレイヤーのリモコンの）トップメニューボタンを押す

再生中のタイトルから通常再生を始める

トップメニューに戻る

ブルーレイ作成 1

ブルーレイディスクをつくる

市販の記録型ブルーレイドライブをUSBケーブルで接続すると、動画や静止画を保存して、ブルーレイディスクをつくることができます。

■対応する記録型ブルーレイドライブ

I-O DATA(アイ・オー・データ機器)社の、BRD-UXP8をお使いください。

お知らせ

- 記録型ブルーレイドライブについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
  I-O DATA社 :http://www.iodata.jp/
  ビクター :http://www.victor.co.jp/dvmain/gz-hm200
- 記録型ブルーレイドライブの取扱説明書をご覧ください。
- USBケーブルは、下記の製品をお使いください。
  I-O DATA製 :USB-MAMB/100 ミニA(オス)ーミニB(オス)
  ビクターサービス扱い :QAM0852-001 ミニA(オス)ーA(メス)
  (同梱の青い紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください)

記録型ブルーレイドライブのつかいかた

■ブルーレイディスクをつくるとき

(1) ブルーレイドライブと本機のUSB端子を、USBケーブルで接続する。

(2) DVDライターと同様に操作する(P.72～P.76)。

■ほかの機器で再生するとき

➡ディスクの作成後に、メニューで「ファイナライズ」を選ぶ
(本体設定メニューの「自動ファイナライズ」は、DVDの作成時に機能する)

■ブルーレイディスクの再生

➡市販のブルーレイプレーヤーやブルーレイレコーダーで再生する

■動画でAVCHDディスクをつくるとき

(1) 記録型ブルーレイドライブを接続したときのメニューで、「メディア切替」を「DVD」に設定する。

(2) 記録型ブルーレイドライブに、新しいDVDをセットする。

お知らせ

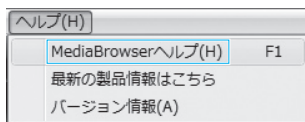
- 静止画を保存したディスクは、ブルーレイプレーヤーなどで再生できません。ブルーレイドライブを接続して本機で再生するか、パソコンで再生してください。

パソコンでできること

ディスクをつくる

パソコンでAVCHDディスク(DVD)やブルーレイディスクをつくるには、下記の順に操作します。

1. パソコンの性能を確かめる(次ページ)
2. 付属ソフトをインストールする(P.82)
3. パソコンにバックアップする(P.83~P.84)
4. ファイルを整理する(P.85)
5. 動画をDVDなどに記録する(P.86)

■YouTube™にアップロードするとき/iTunesに転送するとき
➡MediaBrowserの「ヘルプ」メニューの「MediaBrowserヘルプ」をご覧ください

お知らせ
- お使いのパソコンに記録型DVDドライブや記録型ブルーレイドライブが必要です。
- 付属ソフトでは、静止画をディスクに記録できません。
- 付属ソフトの操作などで困ったときは、P.119のお問い合わせ先へご相談ください。
- Macintoshをお使いの場合は、アップル社のiMovie '08(動画)またはiPhoto(静止画)を使って、パソコンにファイルを取り込みます。以後の操作については、それぞれのソフトのヘルプをお読みください。

パソコン 1 パソコンの性能を確かめる

スタートメニューの「コンピュータ」(または「マイコンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

(Windows Vistaの場合)

- Windows Vista™:次のいずれか
  - ・Home Basic
  - ・Home Premium

  (共にプリインストール版のみ)
- 空欄、またはService Pack 1とあること
- プロセッサ:次のいずれか
  - ・Intel® Core™ Duo CPU 1.66GHz以上

  (Intel® Core™ 2 Duo 2.13GHz以上推奨)
- メモリ:2GB以上
- システムの種類:32ビット

(Windows XPの場合)

- Windows XP:次のいずれか
  - ・Home Edition
  - ・Professional

  (共にプリインストール版のみ)
- Service Pack 2(または3)とあること
- プロセッサ:Windows Vistaと同じ
- メモリ:1GB以上

■その他の動作条件

- ディスプレイ:1024×768ピクセル以上(1280×1024ピクセル以上を推奨)
- グラフィック:Intel G965以上を推奨

お知らせ

- 上記の条件を満たしていないパソコンでは、付属ソフトを使用できません。DVDライター(別売)のご利用をお勧めします(P.70)。
- 詳しくは、パソコンの製造元にお問い合わせください。

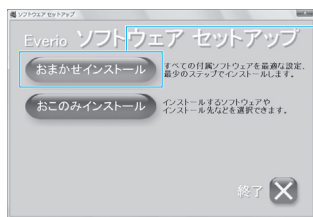
パソコン 2 付属ソフトをインストールする

準 備 ●付属のCD-ROMをパソコンに入れる

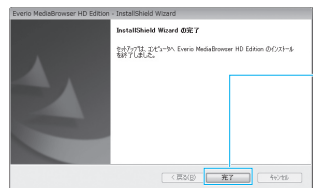
■Windows XPをお使いのとき➡手順③から

1 自動再生画面で
「INSTALL.EXEの実行」をクリック

2 ユーザーアカウント制御画面で
「続行」をクリック

3

「おまかせインストール」をクリック

●以後、画面の指示に従う。

4

左の画面で
「完了」をクリック

5 手順③の画面に戻り
「終了」をクリック
（インストールが終了する）

（デスクトップにアイコンが表示される）

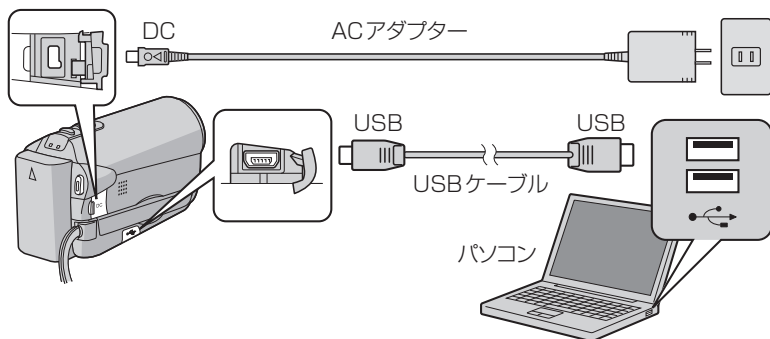
編集用

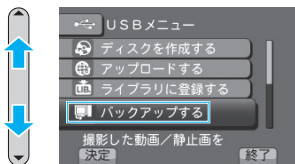
再生用

パソコン3 パソコンにバックアップする

本機の操作

準 備 ●パソコンのHDDに十分な空き容量があることを確認する

1 本機の画面を閉じてから、接続する

2 画面を開ける
（電源が入る）

3 「バックアップする」を選び、OKをタッチする
（パソコンで付属ソフトのEverio MediaBrowserが立ち上がる）

（次ページに続く）

（パソコン接続中）

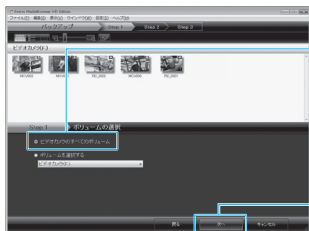
お知らせ

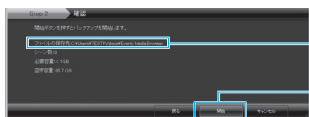
●撮影した動画が多いと、バックアップに時間がかかります。

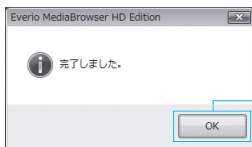
パソコン 3（つづき） パソコンにバックアップする（つづき）

パソコンの操作

準備 ●本機で「バックアップする」を選ぶ（前ページ）

1

「ビデオカメラのすべてのボリューム」をクリック

「次へ」をクリック

ファイルの保存先（パソコン）

「開始」をクリック
（バックアップが始まる）

「OK」をクリック

■本機をパソコンから取りはずすとき

（1）「ハードウェアの安全な取り外し」をクリックする。

（2）「USB大容量記憶装置～」をクリックする。

（3）（Windows Vistaの場合）「OK」をクリックする。

（4）USBケーブルをパソコンから取りはずし、本機の画面を閉じる。

■Everio MediaBrowserの操作で困ったとき

➡（P.119）

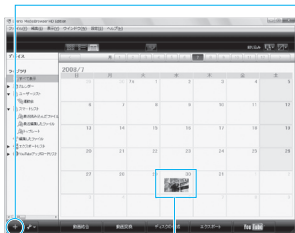
お知らせ

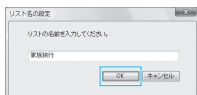
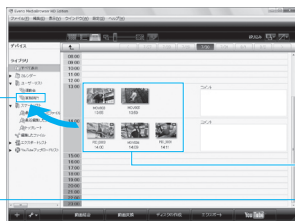
●動画ファイルの拡張子は「.MTS」。静止画ファイルの拡張子は「.JPG」。

パソコン4 ファイルを整理する

ファイルをバックアップしたら、「家族旅行」「運動会」などの名前を付けて整理しましょう。ディスクをつくるときだけでなく、鑑賞するときにも役立ちます。

をクリック
（カレンダー表示になる）

撮影した月をクリック

左下の
「＋」ボタンをクリック

ユーザーリスト名を入力し、「OK」をクリック
（ライブラリのユーザーリストに、新しいユーザーリストが追加される）

（例：家族旅行）

撮影日をクリック
（その日に撮影したファイルのサムネイルが表示される）

サムネイルをドラッグし
ユーザーリストにドロップする

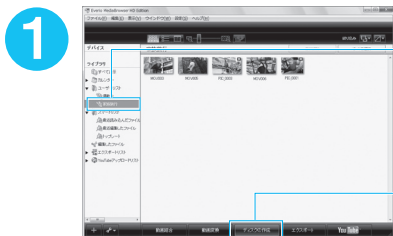
■動画と静止画を区別するとき
➡画面右上の「絞り込み」メニューを使う
➡サムネイルの右上隅を確認する

動画
静止画

（静止画はディスクに保存できません）

パソコン5 動画をDVDなどに記録する

準 備 ●新しいDVD（DVD-Rなど）または新しいブルーレイディスク（BD-Rなど）を、パソコンに入れる。

1

ユーザーリストをクリック

●前ページの例では「家族旅行」。

「ディスクの作成」をクリック

2

●動画だけが表示される。

ディスクの種類を選ぶ

● Blu-ray（ブルーレイディスク用）
● AVCHD（DVD用：ハイビジョン）
● DVD-Video（DVD用：標準画質）

「次へ」をクリック

3

「表示されているすべてのファイルを選択する」をクリック

「次へ」をクリック

お知らせ ● ブルーレイディスクとAVCHDディスクを再生するときは、MediaBrowser Playerを使います。詳しくは、MediaBrowserのヘルプをご覧ください（P.119）。DVD-Videoディスクは、別のソフトで再生してください。

ユーザーリストのなかの動画を使って、ディスクをつくります。
DVDに記録するときは、AVCHDディスクかDVD-Videoディスクを選びます。

タイトル名を入力する
●例：家族旅行

メニューの背景画を選ぶ

「次へ」をクリック

5

「開始」をクリック

6

「OK」をクリック
（ディスクの作成が完了する）

お知らせ　●画質 UXP で撮影した動画からAVCHDディスクをつくるときは、MediaBrowserが画質 XP 相当に変換します。このため、通常よりもディスク作成に時間がかかることがあります。

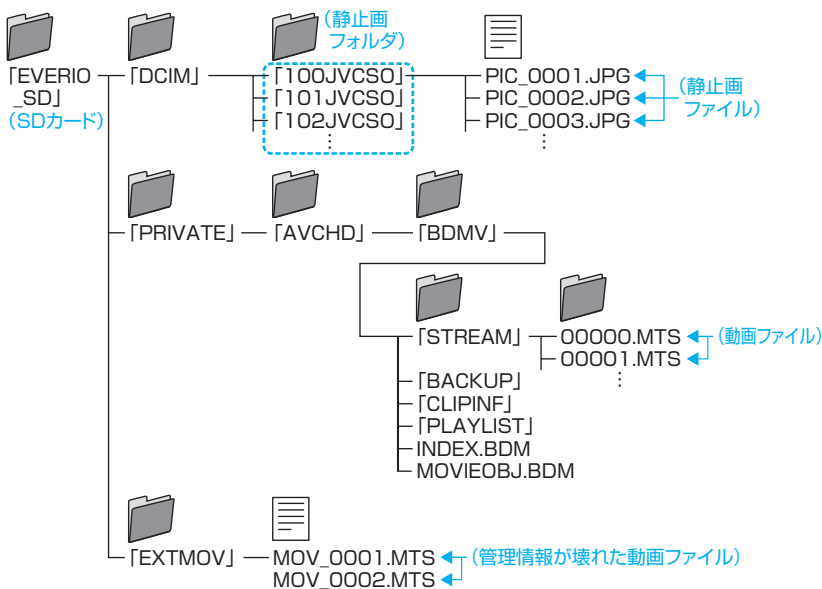
■ディスクに記録するファイルを選ぶとき
➡手順②で下の欄の「ファイルを個別に選択する」をクリックし、「次へ」をクリックしたあと、次の操作をする

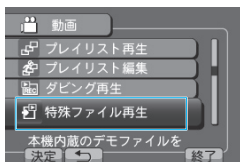
ディスクに記録する動画をドラッグし
下の欄へドロップする

「次へ」をクリック

フォルダとファイルの一覧

SDカードには、フォルダとファイルが次のように作成されます。
フォルダとファイルは、必要になったときに作成されます。

「EVERIO_SD」（SDカード）
- 「DCIM」
  - 「100JVCSO」（静止画フォルダ）
    - PIC_0001.JPG（静止画ファイル）
    - PIC_0002.JPG
    - PIC_0003.JPG
    - ⋮
  - 「101JVCSO」
  - 「102JVCSO」
  - ⋮
- 「PRIVATE」
  - 「AVCHD」
    - 「BDMV」
      - 「STREAM」
        - 00000.MTS（動画ファイル）
        - 00001.MTS
        - ⋮
      - 「BACKUP」
      - 「CLIPINF」
      - 「PLAYLIST」
      - INDEX.BDM
      - MOVIEOBJ.BDM
- 「EXTMOV」
  - MOV_0001.MTS（管理情報が壊れた動画ファイル）
  - MOV_0002.MTS

■管理情報が壊れた動画を見るとき

➡「特殊ファイル再生」（P.96）

お知らせ ●上記のフォルダやファイルの削除・移動・名前の変更などをパソコンで行うと、本機で再生できなくなります。

メニュー 1 さまざまな機能を使う

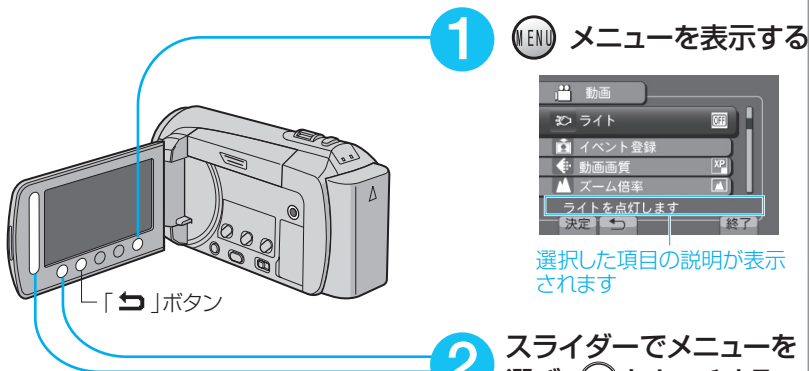
明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、画質や手ぶれ補正、感度アップなどの設定を変えたりできます。

準備 ●動画/静止画スイッチ：（メニューによる）
●PLAY/RECボタン：（メニューによる）

1 MENU メニューを表示する

選択した項目の説明が表示されます

2 スライダーでメニューを選び、OK をタッチする

3 スライダーで内容を選び、OK をタッチする

■設定を終了するとき

➡ MENU をタッチする

■一つ前の画面に戻るとき

➡「⮌」をタッチする

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき

➡本体設定メニューの「工場出荷」（P.100）

メニュー 2

撮影時のメニュー

動画の撮影メニュー

メニュー	内容
マニュアル設定（マニュアル撮影時のみ）	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定のメニュー」(P.94)
ライト	ON 入：ライトを常に点灯する A オート：周囲が暗いと自動的に点灯する ● OFF 切：消灯する
イベント登録	これから撮影する動画が、登録したイベント（旅行、運動会など）に分類される(P.40)
動画画質	UXP UXP：最高画質（ブルーレイディスク向け:DVDに保存できない） ● XP XP：高画質 SP SP：標準画質 EP EP：長時間用 •SDカードの残量時間の画面でも設定できます(P.35)。 •どの画質でも、フルハイビジョン(1920×1080i)の動画を撮影できます。 •画面の一部がモザイク状になったり、輪郭がぼやけるとき（動きのあるシーンや、明るさに変化があるシーンで、生じることがあります。） ➡画質をXPやUXPに変更して撮る
ズーム倍率	● 20倍：20倍までズームできる（光学ズームのみ） 80倍：80倍までズームできる 200倍：200倍までズームできる
手ぶれ補正	OFF 切：設定しない ● ON 入：手ぶれによる動画のブレを低減する •三脚などで固定して撮影するときは ➡「切」にする。（「入」では逆に不自然な映像になる） •手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。 •動画撮影のみに効果があります。

／スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
一部のメニューは、マニュアル撮影時（P.30）のみ、表示されます。

メニュー	内容
感度アップ（静止画と別に設定）	OFF 切：調節しない AGC AGC：暗いところで電気的に明るく調節する ● A オート：暗いところで自動的に明るく調節する（オートスロー：AGCより明るくなるが、明るさによっては被写体の動きが不自然になることがある）
x.v.Color	● OFF 切：テレビ放送と同じ規格で、色を記録する ON 入：より忠実に色を記録する（x.v.Color対応テレビ用） •x.v.Color非対応のテレビで表示すると、「入」にして撮影した動画は色が正しく再現されないことがあります。
ウィンドカット	● OFF 切：低減しない ON 入：風の音を低減する
自動記録メディア切替	OFF 切：SDカードの空き容量がなくなると、動画の撮影を停止する ● ON 入：SDカードを切り替えて動画の撮影を続ける •SDカードを切り替えるには、SDカードが2枚必要です（P.28）。 •SDカードの切り替えと撮影の再開に、約3秒間かかります。切り替え中の映像は撮影されません。（SDカードに画像が多く記録されている場合など、条件によっては、撮影の再開までに数十秒から数分かかることがあります）
表示設定	•項目を選び、それぞれの内容を設定する（それぞれ静止画と共通） ➡「表示設定のメニュー」（P.99）
本体設定	➡「本体設定のメニュー」（P.100）
接続設定	➡「接続設定のメニュー」（P.101）
メディア設定	➡「メディア設定のメニュー」（P.102）

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 2（つづき）

撮影時のメニュー（つづき）

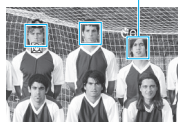
静止画の撮影メニュー

メニュー	内容
マニュアル設定（マニュアル撮影時のみ）	•項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定のメニュー」（P.94）
ライト	•ライトを点灯する ➡動画の撮影メニューの「ライト」（P.90）
セルフタイマー	● 切：セルフタイマーを使わない 2秒：SNAPSHOTボタンを押して、2秒後に撮影する （三脚や台などの上に置き、セルフタイマーを使うと、SNAPSHOTボタンを押した瞬間の手ぶれを防ぐことができる） 10秒：SNAPSHOTボタンを押して、10秒後に撮影する 顔検出：SNAPSHOTボタンを押すと顔を検出し、画面内に1人加わると、3秒後に撮影する •顔検出は記念撮影で使います。画面内の全員が本機を向いていることを確認してから、SNAPSHOTボタンを押します。撮影者が画面内に入るとカウントダウンを開始し、3秒後に撮影します。 •顔検出を中止するとき ➡セルフタイマーを「切」にする ➡SNAPSHOTボタンをもう一度押し、「10秒」のセルフタイマーに切り換える •「顔検出」に設定すると、が点滅し、顔優先AE/AF（P.34）を使用できません。 •セルフタイマーの使用中は、連写できません。

■セルフタイマーの「顔検出」の操作の流れ

（1）SNAPSHOTボタンを押す

顔に枠が付く

（2）撮影者が画面内に入る

3秒後に撮影

お知らせ ●撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。

／スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
一部のメニューは、マニュアル撮影時（P.30）のみ、表示されます。

メニュー	内容
シャッターモード	● 1枚撮影：連写しない 連写：SNAPSHOTボタンを押し続けているあいだ、連写する（最大3枚／秒） •SDカードによっては、連写できないことがあります。 •連写し続けると、連写速度が低下します。
静止画サイズ	● 1920×1080（画面比は16：9） 1440×1080 640×480 •画面比が16：9の静止画をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。
静止画画質	● ファイン：高画質（撮影可能枚数が少なくなる） スタンダード：標準画質（撮影可能枚数が多くなる）
感度アップ（動画と別に設定）	切：調節しない ● AGC：暗いところで電気的に明るく調節する
表示設定	•項目を選び、それぞれの内容を設定する（それぞれ動画と共通） ➡「表示設定のメニュー」（P.99）
本体設定	➡「本体設定のメニュー」（P.100）
接続設定	➡「接続設定のメニュー」（P.101）
メディア設定	➡「メディア設定のメニュー」（P.102）

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 3 マニュアル設定のメニュー

項目	内容
シーンセレクト	● 切：調節しない ナイトアイ：周囲が薄暗いと自動的に、感度を上げて明るく撮る（最大30倍） ・画面がカクカクする、またはコマ落ちしたような画像になることがある。 ・ピントが合いにくくなるとき ➡「フォーカス」を「マニュアル」にする ・手ブレしやすくなるとき ➡三脚で固定する 夜景：夜景などを自然な感じに撮る ポートレート：背景をぼかして、人物を浮かび上がらせる スポーツ：動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮る スノー：晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぐ スポットライト：ライトの中の人物が明るくなりすぎない
フォーカス	● オート：自動的にピントが合う マニュアル：ピントをスライダーで合わせ、OKをタッチする（マニュアルフォーカス） ▲：遠距離 👤：近距離 •ズームを使うときは、望遠（T）でピントを合わせてから広角（W）にすると、ピントがずれない。
フォーカスアシスト	•ピント合わせを簡単にするため、次の3つを同時に変更する •画面を一時的にモノクロにする •ピントが合っている画像の輪郭線を青色にする •フォーカスを「マニュアル」にする •次の順に操作すると、ピントが合い、画面がカラーに戻ります。 ①スライダーを動かし、被写体の輪郭線を青色にする ②OKをタッチする •暗いところで使うと、ざらついた部分に色が付いて、輪郭線が見にくくなります。 •輪郭線の色を変えたいとき ➡表示設定メニューの「アシストカラー」（P.99）

マニュアル撮影時(P.30)には、メニューに「マニュアル設定」が表示されます。「マニュアル設定」を選んで OK をタッチすると、明るさやシャッタースピードなどを調節できます。

項目	内容
明るさ補正 (動画と静止画で別に設定)	● A オート:自動的に明るさが調節される M マニュアル:明るさの補正値をスライダーで設定し、OK をタッチする 動画 (動画):−6〜+6 静止画(静止画):−2.0EV〜+2.0EV
シャッタースピード (動画と静止画で別に設定)	● A オート:自動的にシャッタースピードが調節 M マニュアル:シャッタースピードをスライダーで選び、OK をタッチする •動きの速い被写体を鮮明に撮るとき ➡数値を小さくする(1/4000まで) ＊被写体が暗くなる。 •動きのある被写体の流れを撮るとき ➡数値を大きくする(1/2まで) ＊手ブレしやすくなるので、三脚で固定する。
WB ホワイトバランス	● A オート:自動的に自然な色合いになるよう調節 M マニュアル:色合いを調節する➡(P.34)
逆光補正	ON 入:逆光で被写体が暗くなるのを補正する ● OFF 切:補正しない
測光エリア	● 全体:画面全体を基準に、明るさを補正する スポット:スポット枠を基準に、全体の明るさを補正する ➡「⬅」や「➡」をタッチしてスポット枠を左右に動かし、OK をタッチする
エフェクト (動画と静止画で別に設定)	● OFF 切:効果をつけない セピア:古い写真のようなセピア色で撮る B/W 白黒:白黒映像のようなモノクロで撮る 映画効果(動画のみ):速いコマ落としによる映画のような効果で撮る ストロボ(動画のみ):コマ落としで、連続写真のように撮る
テレマクロ	● OFF 切:通常の撮影(以下の距離まで近づける) 望遠(T)側:約1mまで 広角(W)側:約5cmまで ON 入:望遠側での接写(以下の距離まで近づける) 望遠(T)側:約50cmまで 広角(W)側:約5cmまで •接写しないときは、「切」にしてください。 「入」のままだと、画像がぼやけることがあります。

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー4 再生時のメニュー

動画の再生メニュー

メニュー	内容
削除	**1つずつ削除**：いま選ばれている動画を削除する **選択して削除**：削除する動画を選んで🗑マークを付け、まとめて削除する ①動画を選び、OK(🗑)をタッチする(🗑が表示される) • 🗑を消すとき ➡もう一度タッチする ②「実行」をタッチする ③「はい」を選び、OKをタッチする **すべて削除**：すべての動画を削除する
アップロード設定	動画からYouTube™にアップロードする部分をコピーし、新しい動画として保存する ➡「部分をコピーする」(P.56)
検索	グループ、撮影日、イベントのいずれかで、一覧表示する動画を絞り込む ➡「探して見る」(P.42)
プレイリスト再生	プレイリストを再生する ➡「プレイリストを見る」(P.60) •終了するとき ➡MENU(終了)をタッチする
プレイリスト編集	プレイリストを作成または編集する ➡「プレイリストをつくる」(P.58)
ダビング再生	プレイリストを選び、ビデオ機器にダビングする ➡「ビデオ機器にダビングする」(P.62) •中止するとき ➡OK(中止)をタッチする
特殊ファイル再生	管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生する •通常の再生に戻るとき ➡「⮌」をタッチする
編集　コピー	動画を選び、別のSDカードにコピーする➡(P.64)
ムーブ	別のSDカードにコピーし、元の動画を削除する➡(P.64)

／スイッチの設定によって、表示されるメニューが異なります。
動画のグループ表示での再生時や、プレイリストの再生時は、一部の機能を利用できません。

メニュー		内容
編集 (つづき)	プロテクト /解除	**1つずつ設定**：いま選ばれている動画に、誤消去防止のプロテクト( )マークを付ける **選択して設定**：プロテクトする動画を選んで マークを付けたり、解除したりする ①動画を選び、OKをタッチする(が表示される) ・ を消すとき➡もう一度タッチする ②MENUをタッチする ③「はい」を選び、OKをタッチする **すべてプロテクト**：すべての動画をプロテクトする **すべて解除**：すべての動画のプロテクトを解除する
	分割	動画を任意の場所で、前半と後半の2つに分ける ➡(P.54)
	トリミング	動画から必要な部分をコピーし、新しい動画として保存する➡(P.56)
	イベント変更	一度記録したイベントを変更する➡(P.41)
ワイプ/フェーダー		● OFF **切**：効果を付けない Wh **白**：最初と最後を、白くする Bk **黒**：最初と最後を、黒くする **スライド**：右↔左 **ドア**：中心↔左右 **スクロール**：下↔上 **シャッター**：中心↔上下 例)白(フェーダー) 例)スライド(ワイプ) •約7秒以下の短い動画には、効果が付きません。 •一時的な効果です。ファイルに影響を与えないので、「切」にすると元に戻ります。 •DVDライターや記録型ブルーレイドライブでディスクをつくる場合、これらの効果は反映されません。

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 4（つづき）

再生時のメニュー（つづき）

動画の再生メニュー（つづき）

メニュー	内容
画面表示	切：画面の文字とアイコンをすべて消す ● すべて表示：文字とアイコンをすべて表示する 日付のみ表示：文字とアイコンを消し、日時のみを表示する 日付５秒表示：画像を表示したときと、日付が変わったときに、日時を約５秒間表示する（ほかの文字とアイコンは表示しない）
表示設定	•項目を選び、それぞれの内容を設定する（それぞれ静止画と共通） ➡「表示設定のメニュー」（P.99）
本体設定	➡「本体設定のメニュー」（P.100）
接続設定	➡「接続設定のメニュー」（P.101）
メディア設定	➡「メディア設定のメニュー」（P.102）

●印は、お買い上げ時の設定です

静止画の再生メニュー

メニュー		内容
削除		静止画を削除する ➡動画のメニューの「削除」（P.96）
日付検索		撮影日を指定し、一覧表示する静止画を絞り込む ➡「探して見る」（P.42）
編集	コピー	静止画を選び、別のSDカードにコピーする➡（P.64）
	ムーブ	別のSDカードにコピーし、元の静止画を削除する ➡（P.64）
	プロテクト/解除	静止画をプロテクト（誤消去防止）する ➡動画のメニューの「プロテクト/解除」（前ページ）
画面表示		画面の文字とアイコンを消す ➡動画の再生メニューの「画面表示」（前ページ）
表示設定（P.99）　本体設定（P.100）　接続設定（P.101）　メディア設定（P.102）		

メニュー5 表示設定のメニュー

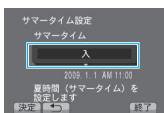
「表示設定」を選んで OK をタッチすると、画面の明るさなどを調節できます。
撮影／再生、動画（動画アイコン）／静止画（静止画アイコン）を問わず、いつでも設定できます。

項目	内容
時計合わせ	**日時設定**：現在時刻を修正するときや、設定し直すとき **地域設定**：海外で使うとき（P.25） **サマータイム設定**：旅行先でサマータイムが実施中のとき、「入」にする
日付表示配列	年月日の並び順と、時間表示（24h／12h）を設定する
モニター明るさ調整	明るさをスライダーで調整し、OK をタッチする ＋：明るくなる －：暗くなる
モニターバックライト	**明るい**：画面を常に明るくしたいとき **標準**：バッテリーの消費を抑えたいとき ● A **オート**：屋外では「明るい」に、屋内では「標準」に、自動的に切り替わる ➡屋外に出ると、「LCD ▲」が約3秒間表示され、▲が点滅します ➡屋内に入ると、「LCD ▼」が約3秒間表示され、▼が点滅します
アシストカラー	● B 青／ R 赤／ G 緑 •マニュアル設定メニューの「フォーカスアシスト」を使うときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。

●印は、お買い上げ時の設定です

■旅行先がサマータイムのとき

（1）「時計合わせ」で「サマータイム設定」を選ぶ。

（2）「入」を選び、OK をタッチする。

■海外から戻ったとき

➡「地域設定」と「サマータイム設定」を元に戻す

■時計が少しずれたとき

➡「時計合わせ」で「日時設定」を選ぶ（P.4の手順③へ）

■サマータイムとは

夏の一定期間の時計を1時間進める制度を、サマータイムと呼びます。
日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。

メニュー6 本体設定のメニュー

「本体設定」を選んで OK をタッチすると、本機について設定できます。
撮影／再生、動画（ ）／静止画（ ）を問わず、いつでも設定できます。

項目	内容
DEMO デモモード	OFF 切：設定しない ● ON 入：本機の機能のデモを見ることができる ➡SDカードを入れず、ACアダプターを接続し、電源を入れて「撮影」にし、約3分待つ
OFF オートパワーオフ	OFF 切：5分放置しても電源が切れない ● ON 入：電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になる（デモモード「切」の場合）
操作音	OFF 切：消す ● ON 入：操作時に音を鳴らす
REC 録画ボタン	OFF 切：表示しない ● ON 入：画面に「REC」ボタンを表示し、START/STOPボタンの代わりに使う
高速起動	OFF 切：高速起動しない ● ON 入：5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動する •「入」にすると、画面を閉じてから5分間、消費電力が撮影時の約1/3になります。電源を入れておくより節電できます。
リモコン	OFF 切：リモコンでの操作を受け付けない ● ON 入：リモコンで操作できる
自動ファイナライズ	OFF 切：作成するDVDを追記可能にする（本機以外では再生できません） ● ON 入：作成するDVDを、対応機器（P.77）で再生できるようにファイナライズする •「切」にして作成したDVDを対応機器（P.77）で再生するとき ➡DVD作成画面で「ファイナライズ」を選ぶ（P.72） •2枚以上のDVDを同時に作成する場合、「切」にしていても、最後の1枚を除いて自動的にファイナライズされます。 •ブルーレイディスクを作成する場合、「自動ファイナライズ」の設定に関わらず、常にファイナライズされずに作成されます。
ファームウェア更新	本機の機能を最新版に更新できます。詳しくは、ビクターのホームページをご覧ください。（新しいファームウェアがつくられるまで、ホームページに説明はありません）
工場出荷	「時計合わせ」以外のすべての設定をお買い上げ時に戻す

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 7 接続設定のメニュー

「接続設定」を選んで OK をタッチすると、テレビとの接続について設定できます。
撮影／再生、動画（ ）／静止画（ ）を問わず、いつでも設定できます。

項目	内容
テレビ表示	● OFF 切：テレビに、アイコンや日時を表示しない ON 入：常に表示する
ビデオ出力	● 16:9 16:9：ワイドテレビ（16:9）に接続するとき 4:3 4:3：従来型のテレビ（4:3）に接続するとき
コンポーネント出力	● D1：D1（480i）～D2（480p）のとき D3：D3（1080i）～D4（720p）のとき •テレビのD端子に接続するときに、D端子の種類を設定します。
HDMI出力	● A オート1：通常はオート1に設定する A2 オート2：オート1で正常に表示されないとき 480P 480p：オート2で正常に表示されないとき • 1080p対応テレビにHDMIケーブルで接続する場合、「オート1」に設定すると最良の映像（1080p信号）を出力し、本機の画面の上端に「1080P」と表示します。 • 1080p信号を出力できるのは、再生モードのみです。
HDMI機器制御	OFF 切：連動しない ● ON 入：HDMI CEC規格に対応するテレビと連動する •対応テレビとの連動の例： テレビの電源が入っている場合、本機を再生モードにすると、本機の画面が自動的にテレビに表示される。 テレビの電源を切ると、本機の電源も切れる。 •本機の動作に予期せぬ影響があるとき ➡「切」にする

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 8 メディア設定のメニュー

「メディア設定」を選んで OK をタッチすると、SDカードについて設定できます。
撮影／再生、動画（🎥）／静止画（📷）を問わず、いつでも設定できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>動画スロット選択</td><td colspan="2">● A スロットA：動画をスロットAのSDカードに記録する
B スロットB：動画をスロットBのSDカードに記録する</td></tr>
<tr><td>静止画スロット選択</td><td colspan="2">● A スロットA：静止画をスロットAのSDカードに記録する
B スロットB：静止画をスロットBのSDカードに記録する</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SDフォーマット</td><td>スロットA</td><td>●ファイル：スロットAのSDカードのすべてのファイルを消去する
ファイル+管理番号：
スロットAのSDカードのすべてのファイルを消去し、ファイル番号を「1」から始める（静止画フォルダのフォルダ番号は「100」から始まる）
・スロットAにSDカードが入っていないときは、選べません。</td></tr>
<tr><td>スロットB</td><td>スロットBのSDカードのすべてのファイルを消去する
➡スロットAと同じ
・スロットBにSDカードが入っていないときは、選べません。</td></tr>
</table>

●印は、お買い上げ時の設定です

故障かな!?と思ったら…

修理を依頼する前に、もう一度、以下の表にしたがってご確認ください。
それでも不具合があるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にご相談ください。
なお、ビデオカメラサポート情報から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
➡ http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
カード	SDカードが入らない	●SDカードの向きを確認する。	28
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。	27 27
電源	画面を閉じると電源/充電ランプが点滅する	●本体設定メニューの「高速起動」が「入」になっていることを示しています。 ●バッテリーの充電中を示しています。	100 27
撮影中	撮影できない	●スイッチを確認する。 ●PLAY/RECボタンで撮影モードにする。	30 30
撮影中	自動でピントが合わない	●レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭く。 ●マニュアル撮影メニューで「フォーカス」を「オート」にする。 ●暗いところや明暗差の少ないものを撮影するときは、「フォーカス」を「マニュアル」にする。	– 94 94
撮影中	デジタルズームできない	●メニューの「ズーム倍率」を「80倍」または「200倍」にする。 ●静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。	90 –

故障かな!?（つづき）

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
撮影中	勝手に撮影が停止した	●電源を切り、しばらく経ってから電源を入れる。または、ACアダプターや新しいバッテリーを使う。（バッテリーの温度が上がると、電源の保護のため自動的に停止します。） ●12時間連続撮影すると撮影が停止します。撮影の再開には、多少時間がかかります。	– 32
	被写体が暗い	●メニューの「ライト」を使う。 ●メニューの「感度アップ」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「逆光補正」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「シーンセレクト」で「ナイトアイ」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「明るさ補正」を「＋」側に設定する。	90 91 95 94 95
	被写体が明るい	●逆光補正を使っているときは解除する。 ●マニュアル設定メニューの「シーンセレクト」で「スポットライト」を使う。 ●マニュアル設定メニューの「明るさ補正」を「－」側に設定する。	95 94 95
	被写体の色が不自然（赤っぽい、青っぽいなど）	●マニュアル設定メニューの「ホワイトバランス」を「マニュアル」に設定する。 ・光源に合わせて「はれ／くもり／ハロゲン」のいずれかを選ぶ。 ・「ワンタッチ」を選んで調整する。	34
	画面に明るい光の帯が現われる	●本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにする。 （明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現われることがありますが、故障ではありません。）	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。	– –
	実際の記録時間が目安とされている時間より短い	●動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。	–
画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●ACアダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。	– – –
	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと見にくくなります。	–
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	–
	撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない	●グループ表示や日付検索を解除する。 ●メディア設定メニューの「動画スロット選択」や「静止画スロット選択」を変更する。（別のSDカードのファイルは表示されません。） ●メニューの「特殊ファイル再生」を選ぶ。（管理情報の壊れた動画などを再生できます。）	42 102 96

故障かな!? (つづき)

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	日付表示がでない	●メニューの「画面表示」を設定する。 ●(テレビで再生するとき)接続設定メニューの「テレビ表示」を「入」にする。	98 101
	色合いが違って見える	●マニュアル設定メニューの「ホワイトバランス」を調節して撮影する。 ●x.v.Color非対応のテレビで見る場合、メニューの「x.v.Color」を「切」にして撮影する。 ●x.v.Color対応テレビで見る場合、テレビのx.v.Color設定を「入」にする。	34 91 –
	動きのあるシーンや明るさの変化があるシーンなどでモザイクノイズが入るか輪郭がぼやける	●画質EPやSPで撮影しているときは、画質をXPやUXPに上げて撮影する。	90
	HDMI miniケーブルでテレビに接続したとき、テレビに映像が正常に表示されない	●HDMI miniケーブルを抜き差しする。 ●本機の電源を入れ直す。 (お使いのテレビの機種によっては、正常に表示されないことがあります。)	50 –
その他	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●動画や静止画をパソコンなどに保存し、SDカードから削除することをおすすめします。 (撮影したファイルがSDカードに多数あると、本機の反応が遅くなります。)	–

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。 （バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。）	－
		●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。 （範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。）	－
	スライダーや操作ボタンがきかない	●手袋などをはずす。	－
		●指で触れて操作する。 （爪やペン先などでは操作できません。）	－
	リモコンがきかない	●本体設定メニューの「リモコン」を「入」にする。	100
		●電池を交換する。	26
		●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。	－
	USB機器の接続時にエラー表示がでる	●USBケーブルを接続しなおす。	66
		●本機を接続している機器の電源と、本機の電源を、入れ直す。	－
	DVD作成メニューに入ったときメニューから抜けられない	●本機とDVDライターの電源を切るか、ACアダプターを取りはずす。	－
	本機が熱くなる	●故障ではありません。 （長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。）	－

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
その他	外付型ハードディスクのフォルダを削除できない	●パソコンで削除する。 （パソコンでファイルを入れたり、フォルダの移動·名前の変更を行ったりすると、本機で削除できなくなります。）	–
	YouTube™にアップロードできない	●YouTube™のアカウントを作成する。 （YouTube™へのアップロードには、YouTube™のアカウントが必要です。） ●付属ソフトMediaBrowserのヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認する。	– 119
	iTunesに転送できない	●付属ソフトMediaBrowserのヘルプの「最新の製品情報はこちら」の「Q&A」「最新情報」「ダウンロード情報」などを確認する。	119

■次の場合は故障ではありません
- ●太陽光が映ると、液晶画面が一瞬赤か黒になる。
- ●液晶画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
  （液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

■正常に動作しないときは本機をリセットする
（1）電源を切る。（画面を閉じる）
（2）本機からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。
(3) 本体設定メニューの「工場出荷」を実行する。

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
時計を合わせてください	●時計を設定する。 （設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。）	4
通信エラー	●バッテリーをもう一度付け直す。	27
動画モードでは使えません	●SDカードを交換する。 （ほかのAVCHD機器で記録した動画は、本機では再生できません。）	28
フォーマットされていません	●「OK」を選び、「フォーマットしますか?」の画面で「はい」を選ぶ。	29
フォーマットエラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ●本機の電源を入れ直す。	29 —
カードエラー	●本機の電源を入れ直す。 ●ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直す。 ●SDカードの端子の汚れを取り除く。 ●上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの「SDフォーマット」を実行する。（データはすべて消えます。）	— 27, 28 — 102
空き容量がありません	●ファイルを削除する。パソコンなどに移す。 ●新しいSDカードに交換する。	— —
プロテクトがかかっています	●メニューの「編集」の「プロテクト/解除」で解除する。	97

こんな表示が…（つづき）

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
カードがライトプロテクトされています	●SDカードのライトプロテクトスイッチを解除する。	–
カードへ記録できませんでした 動画管理ファイルが壊れているため修復します	●OKをタッチして修復する。 （修復に失敗した動画は一覧表示されませんが、メニューの「特殊ファイル再生」で再生できることがあります。） ●画質UXPで撮影中に表示されたときは、バックアップをとってから、メディア設定メニューの「SDフォーマット」を実行する。 （データはすべて消えます。）	96 102
このカードは、本機で記録、編集できません 未対応のシーン（ファイル）です	●本機で記録したファイルを使う。 （他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。本機で記録したファイルの場合、ファイルが壊れています。）	–
フォルダ数が制限を超えています	●バックアップ先を別のディスクに交換する。	–
ファイル数の制限を超えています	①パソコンなどにファイルまたはフォルダを移す。（バックアップします。） ②メディア設定メニューの「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選ぶ。 （SDカード内のデータは、すべて消えます。）	– 102
プレイリスト数が制限を超えています	●プレイリストを99以下にする。 （プレイリストは99まで作成できます。）	–

こんな表示	ここを確かめてください	ページ
バックアップできないモードで撮影されたシーン…	●バックアップする動画から、画質UXPで撮影した動画を除く。 ●「作成する」ボタンがあるときは、これを選ぶ。（ただし、画質UXPで撮影した動画は、DVDにバックアップされません。） ●記録型ブルーレイドライブ（市販）を使い、BD-RディスクやBD-REディスクにバックアップする。	– – –
動画ファイルがありません 静止画ファイルがありません	●動画/静止画スイッチを切り替える。 ●メディア設定メニューの「動画スロット選択」または「静止画スロット選択」でスロットを変更し、もう一方のスロットのSDカードに記録されていないか確かめる。	30 102
ディスクを入れて（入れ替えて）ください	●DVDライターなどのトレーを開け、DVDを確認して置き直し、トレーを閉める。 ●DVDライターなどのディスクを入れ替える。	– –
電源が入っていないか、または非対応のUSB機器です	●接続したUSB機器の電源を入れる。 ●DVDライターにACアダプターを接続する。	– 70

準備 撮影・再生 編集・保存 DVD作成 メニュー 困ったとき

仕様

一般	
電源	ACアダプター使用時 ：DC11V バッテリー使用時　　：DC7.2V
消費電力	3.3W（ライト「切」、モニターバックライト「標準」の場合）
外形寸法（mm）	54.5×65×112.5（幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	本体　：約260g 撮影時：約310g（バッテリーBN-VF808を含む）
動作環境	許容動作温度：0℃〜40℃、許容保存温度：−20℃〜50℃ 許容相対湿度：35％〜80％

カメラ部・液晶部		
映像素子	1/4.1型305万画素（CMOS） 撮像エリア：116万画素	
レンズ	F1.9〜F3.2、f=2.9mm〜58mm （35mmカメラ換算　41.4mm〜828mm）	
フィルター径	30.5mm（ネジピッチ0.5mm）	
最低照度	9ルクス（シャッタースピード：1/30） 1ルクス（ナイトアイモード、シャッタースピード：1/2）	
液晶画面	2.7型ワイド、12.3万画素、ポリシリコンカラー液晶	
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ	
ズーム	動画撮影時	光学ズーム：等倍〜20倍 デジタルズーム：21倍〜200倍
	静止画撮影時	光学ズーム：等倍〜20倍
	再生時（P.20）	等倍〜5倍

端子部	
HDMI端子	HDMI™ Mini Connector（V1.3、x.v.Color™対応）
コンポーネント端子	Y Pb Prコンポーネント出力
AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、アナログ出力
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB 2.0

ACアダプター(AP-V21)

電源	AC 100V–240V、50Hz/60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃~40℃(充電時は10℃~35℃)
外形寸法(mm)	62×26×49(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約82g

バッテリー(BN-VF808)

電圧	DC 7.2V
容量	730mAh
外形寸法(mm)	30.5×18×52(幅×高さ×奥行き)
質量	約45g

時計用電池

種類	一次電池

リモコン(RM-V751)

種類	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m(正面軸上)
許容動作温度	0℃~40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91(幅×高さ×奥行き)
質量	約30g(ボタン電池を含む)

静止画

記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.24)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	SDカード(1枚または2枚)

動画

信号方式	デジタルハイビジョン方式
動画記録画素	1080/60i(画面比16:9)
録画/再生方式	AVCHD規格準拠 映像:MPEG-4 AVC/H.264 音声:Dolby Digital 2ch
解像度	1920×1080i
画　質	UXP(平均24Mbps VBR) XP(平均17Mbps VBR) SP(平均12Mbps VBR) EP(平均5Mbps VBR)
音　質	48kHz、256kbps
記録メディア	SDカード(1枚または2枚)

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

他社製品の登録商標と商標について

・"AVCHD"と"AVCHD"ロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
・HDMI(High-Definition Multimedia Interface)と HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLCの商標です。
・"x.v.Color"と x.v.Color は商標です。
・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・Dolby、ドルビーとダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・YouTubeとYouTubeロゴは、YouTube LLC.の商標および商標登録です。
・Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・iPod、iTunesは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc.の商標です。
・Intel Core、Pentium、Celeronは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

別売アクセサリー

別売アクセサリー

詳しくは、カタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※
バッテリーキット	VU-V863KIT※
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD3
DVDライター	CU-VD50

※ VU-V840KITとVU-V863KITは、バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード(VC-VBN800)で本機と接続して使います。

バッテリーの処分

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

さくいん

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合(持込修理)

「故障かな?!と思ったら…」(P.103)にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名:ビデオカメラ
2. 型名:表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は
保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

保証書(別添付)

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書は大切に保管してください。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や修理に関するご相談は…

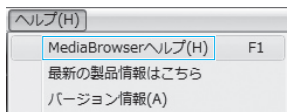
お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」(別紙)にご相談ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

付属ソフトで困ったときは…

■Everio MediaBrowserの使いかた

➡「ヘルプ」メニューの「MediaBrowser ヘルプ」をご覧ください

■ご利用になれるパソコン

➡(P.81)

■付属ソフトのインストール

➡(P.82)

付属のソフトの操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
(パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)

「Everio MediaBrowser」と「Everio MediaBrowser Player」のお問い合わせ先

株式会社ピクセラ

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中
2-10-70 パークスタワー25階

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:0570-02-3500
(ナビダイヤルが使用できない場合)
06-6633-2990
受付時間:10:00〜18:00
(年末年始、祝日、ピクセラ社所定休日は除く)

FAXでの問い合わせ

FAX番号:06-6633-2992
受付時間:24時間

「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.jvc-victor.co.jp/support/

- ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがあります。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。
- ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて(P.118)

■製品についてお困りのことがありましたら・・・

「故障かな!?と思ったら・・・」(P.103〜P.108)
「こんな表示がでたら・・・」(P.109〜P.111)
をお読みいただき、動作をご確認ください。

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www.jvc-victor.co.jp/dvmain/support/

取扱い方法などのご相談

お客様ご相談センター

0120-2828-17

●携帯電話・PHSからは、
次の電話番号をご利用ください
045-450-8950

技術的なご相談

DVご相談窓口

☎ 045-450-2770

修理や付属品購入などのご相談

同梱の青い紙の
「ビクターサービス窓口案内」
から最寄りの「ご相談窓口」に
お問い合わせください

ソフトウェアEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

☎ 0570-02-3500
(ナビダイヤルが使用できない場合)
06-6633-2990

ホームページ
http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.118をご覧ください。

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M9S4 0209MKH-HT-VM